

令和 6 年度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業計画書)

1. 令和6年度事業方針	1
2. 事業の体系	6
3. 事業計画	
(1) 世田谷文化生活情報センター生活工房	16
(2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター	19
(3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部(せたおん)	26
(4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部	28
(5) 世田谷美術館	30
(6) 世田谷文学館	35
(7) 財団共通	38

(収支予算書)

1. 収支予算(損益計算書ベース)	42
2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)	44

(その他の付属書類)

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	51
-----------------------------	----

事業計画書

1. 令和6年度事業方針

昨年度、世田谷区では、たまがわ花火大会が4年ぶりに、対岸の川崎市の花火大会と同時開催されるなど、地区や地域で行われているものも含めて、ほぼ全てのイベント等が再開されてきています。こうした状況を受け、財団の令和6年度収支予算につきましても、経常収益が前年度比約2.9%（約8千6百万円）の増、また、経常費用が前年度比約2.2%（約6千6百万円）の増となっています。

令和6年度、財団は、新型コロナウイルスの行動制限の中で始まった動画配信や、オンラインを活用したワークショップなどの取組みを継続・発展させるとともに、これまで自粛してきた様々な事業について、コロナ禍前の事業展開に戻していくよう努めてまいります。「せたがやジュニアオーケストラ(SJO)定期演奏会」を6年ぶりに世田谷区民会館で開催するほか、生活工房では大学や地域の企業などとの連携により、美術館の普及事業では人と人との距離を近づけることを意識したプログラムの充実により、また、文学館では昨年度立ち上げた会員制度「セタブンパス」の本格的な始動により、さらには、パブリックシアターでの聴覚障害者のための日本語字幕付き上演などにより、多くの方が文化・芸術に触れあう機会を拡げてまいります。

財団は、国家及び地方公務員の定年引上げに合わせ、令和6年度より職員の定年の段階的な引上げを行うとともに、若年層の昇任意欲を高め、将来に渡る役職者の安定的確保を図るため、併せて昇任選考受験資格の改正を行い、持続可能な財団経営と意欲を持って働くことができる職場の実現に努めてまいります。今後も、これまでの成果を検証しながら、労働環境の整備等により、効率的で効果的かつ公正な業務遂行・事業展開を目指してまいります。

インボイス制度の開始や電子帳簿保存法の適用により事務は複雑化し、諸物価等の高騰も重なり、予算としても、事業を行う環境としても、さらに厳しい状況が続いていくことと思われます。そのような中であっても、文化・芸術は、人々の相互理解の土壌を醸成し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。時々の状況に応じた工夫を重ねながら各事業を展開し、文化・芸術が持つ力とともに、財団が有するその社会的役割を果たしてまいります。

《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、生活デザインを提案する「生活工房」、演劇とダンス公演を主に展開する公共劇場「世田谷パブリックシアター」、親しみやすく良質な音楽を提供する「音楽事業部」、外国人支援や交流を担う「国際事業部」の4部門からなり、令和6年度で開館27周年を迎えます。

区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設であり続けるため、今後も地域の方々との関わりや幅広い分野とのコラボレーションを重視し、公演、展示、教育普及など様々な事業を展開するとともに、区の施策と連携しながら多文化共生の取組みも進めてまいります。

○生活工房

セミナールーム、ワークショップルーム、市民活動支援コーナーの施設の維持管理を適切に行い、運営にあたっては、利用者に快適にご利用いただけるような環境づくりに努めます。区民の暮らしに身近な文化施設として、デザインやアート、生活文化をテーマに独自の視点で掘り起こす多彩な展覧会や、暮らしや生きることを見つめなおし、年齢や障害の有無にかかわらず様々な人たちが交流・対話する場となるワークショップやセミナー等を実施します。

生活工房ギャラリーでは、世田谷美術館の企画展にあわせて、民藝運動とその周縁を多角的に展示する「アウト・オブ・民藝」展や、ハンドメイドファッションブランド「途中でやめる」主宰作家による公開制作や展示を通して身近な物事の価値を考える展覧会、描かれた動物を通して動物が結ぶ人と自然とのつながりや根源を探る展覧会を開催します。関連事業としてトークイベントやワークショップも実施します。

また、日常における「対話」の可能性を再考するセミナー・シリーズ「対話の効能」(vol.2)、五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型ワークショップ「日常を見限らない」(vol.4)、財団内の他事業部や、他機関と連携して芸術文化を生活工房ならではのユニークな視点からとらえなおすセミナー等を開催します。

施設全体を有効に活用し、大学や地域の企業、市民活動団体等とも連携し、多くの方が文化・芸術に触れあう機会を広げます。ホームページや情報誌で事業を広報するとともに、様々な創作・表現活動に取り組む人たちの魅力を伝え、積極的な情報発信に取り組みます。映像アーカイブの活用や、動画配信コンテンツの一層の充実も図ります。

○世田谷パブリックシアター

劇場のそれぞれの事業分野において、以下に重点を置いて事業を展開します。

公演事業では、白井晃芸術監督の演出作品を年間の大きな柱としつつ、若手や中堅の演出家を積極的に起用し、優れた舞台芸術作品の創造発信とともにアーティストの育成に力を入れていきます。さらに、地方へのツアー公演を積極的に実施し、成果を広く共有していきます。日本語字幕付き上演や音声ガイドなどのバリアフリー対応や多言語対応を積極的に進めるとともに、各種割引制度を通じて観劇のハードルを低くする努力を続けます。

また、コロナ禍により大幅な見直しを余儀なくされていた海外からの招聘公演を本格的に再開し、さらに充実させます。夏休み時期には家族で楽しめる2作品をカナダから招聘。冬にはドイツからダンス公演を招聘します。

夏休み時期には、新たに「せたがやアートファーム」を立ち上げます。上述の招聘公演のほか、親子で楽しめる落語公演や現代サーカスの要素を取り入れた新作演劇公演、多彩なワークショップなど、誰もが自分のお気に入りを見つけられる「アートの農園」となることを目指します。

学芸事業においては、地域連携プログラムとして下馬地区で開催するコミュニティアートフェスティバル「極楽フェス」、区内文化団体の皆様に劇場で成果を発表いただく「フリーステージ」、三軒茶屋の秋の恒例行事となっている「三茶 de 大道芸」など、地域における文化活動の拠点としての劇場の存在感を発揮する事業を幅広く展開します。

また、開場以来培ってきたノウハウを最大限に活用した演劇ワークショップを劇場や区内小中学校などで多彩に展開するとともに、演劇やダンスの楽しみ方や取り組み方を提案するさまざまな観客・専門家の育成プログラムを実施し、舞台芸術が生活の中に息づく環境整備に取り組めます。

劇場は、舞台芸術に触れ、その楽しみ方や実践について学ぶ場であると同時に、他者と出会い、共に生きていく方法を試し、身に着けていく場でもあります。多様なプログラムの展開により、公共劇場の役割を積極的に果たし、拡大していきます。

○音楽事業部(せたおん)

工事の遅れにより、半年以上開館が延期となった、新しい世田谷区民会館。このオープニングイベントに、改めて取り組めます。

今藤政太郎の代表作の祝賀演奏と歌舞伎舞踊の豪華2本立てで贈る「シリーズ和・華・調」の特別版、6年ぶりに世田谷区民会館での開催となる「せたがやジュニアオーケストラ(SJO)定期演奏会」、SJOの連携オーケストラである東京フィルハーモニー交響楽団による「特別コンサート」。仕切り直しとなる以上の3公演に加えて、新たな2企画も用意しました。宮川彬良スペシャル・プロデューサーが旗振り役となって、区民に音楽の楽しさを満喫してもらう「ポップス・コンサート」。そして、「世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds」のスペシャル企画、世田谷音楽家のオールスターが集うライブです。

5つの開館記念事業の他にも、「室内楽シリーズ」のうちの1公演と SJO「オータムコンサート」を新世田谷区民会館で開催。新しい会場に早く慣れ、せたおんの活動の幅を広げていけるように努めます。

定番となっている事業の充実にも励みます。池辺晋一郎音楽監督企画「異分野とのコラボレーション」は“鉄道と音楽”がテーマ、親密感のある成城ホールで開催です。北沢タウンホールで年2回開催して、好評を博している「ミュージック・ラウンジ」は3回に拡充の予定。無料で、気軽に音楽を楽しんでいただく「まちかど・まちなかコンサート」は、さらに改良を加えて、区内各地を巡ります。また、創立15周年を迎える SJO は、川場村合宿を行い、技術と団結の強化を図るほか、地域のイベントに参加する「SJO 交流イベント」などを通じて、区民への一層の浸透をめざします。

音とココロの重なるところ一。この信条を胸に、せたおんは、区民のみなさんに響く音楽を追求していきます。

○国際事業部

区の第二次多文化共生プランにあわせて、人々が互いの文化の違いを認め合い、対等な関係の中で共生していけるよう、次の取り組みを進めていきます。

外国人の生活基盤の充実を図るため、これまで区が実施していた「外国人のための日本語教室」と「せたがや日本語サポーター講座」を、今年度からせたがや国際交流センター

(Crossing Setagaya)で実施し、地域日本語教育の推進を図ります。

また、せたがや国際交流センターでは、外国人に対して、必要な情報提供に努めるとともに、適切な相談場所を案内することや、国の相談機関と協力することで、身近な場所で専門的な相談することができる体制を確保します。

また、外国人の地域活動への参加促進を目指し、せたがや国際交流センターで実施する事業に、外国人が参加できる事業を増やしていきます。

さらには多様な文化を受け入れる意識の醸成を図るため、区民の方々が、国籍による、また、性別や育てられた環境等が異なることによる文化の違い、考え方の違いなどを学び、世田谷区で生活する同じ地域住民として、共に活躍しながら生きていくことができるよう「多文化理解講座」を継続的に開催します。また、「にほんご交流会」や「まち歩き」など、外国人と日本人が、やさしい日本語を用いて交流できる場を提供していきます。

国際交流活動団体の支援では、外国人に対する支援がスムーズにできるよう、団体間のネットワークの拡充、活動の活発化や大学連携を進め、相乗効果を高めてまいります。また、地域団体や学校が行う国際交流などの活動紹介を、せたがや国際交流センターの場を活用して行っていきます。

《世田谷美術館》

令和6年度は、感染症に留意しつつも、これまで自粛してきた様々な事業について、コロナ禍前の事業展開に戻していくように努めてまいります。

令和6年度の展覧会事業は、他館との協力や、他機関との連携による幅広い内容の展覧会を開催するほか、これまで収集してきた収蔵品を活用した展覧会を開催します。

企画展では、大阪中之島美術館で開幕し、全国を巡回する展覧会の東京展として「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」を1、2階の展示室を使って開催。日々の生活のなかにある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる。「民藝」のコンセプトが、改めて注目されている昨今、「衣・食・住」というテーマで「民藝」をひも解き、約150件の品々を展示するほか、現在の民藝の産地の作り手などもとりあげ「民藝」の今を紹介します。また、碧南市や大分市の美術館などと協力し、「生誕130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術—三つのまなざし—」を開催。「東西の絵画の総合」を掲げて独自の絵画表現を追求した画家・須田国太郎の初期から晩年までの代表作のほか、これまであまり広く知られなかった作品・資料を紹介します。また、「生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ」を名古屋市美術館などと協力して開催します。1920～30年代のメキシコで画家・美術教育者として活動した北川民次の約30年ぶりとなる大回顧展です。そして<企業と美術シリーズ>の第5弾として、世田谷の住宅地としての発展に深く関わり世田谷との繋がりの強い“東急”の企業活動を文化という視点から検証する「東急 暮らしと街の文化」展を開催します。令和6年度最後は、世田谷美術館コレクション選「緑の惑星—セタビの森の植物たち」を開催。令和4年度に開催した「セタビの森の動物たち展」の第2弾として、子どもから大人まで誰もが気軽に楽しめる、当館コレクションによる「植物」をテーマとした展覧会です。

2階の展示室で開催するミュージアム コレクションでは、昨年度新たに収蔵された世田谷ゆかりのアートディレクター大貫卓也のポスターなどの仕事を紹介する展覧会など、魅力ある切り口でコレクションを活用する3本の企画を実施します。また分館3館においても、それぞれ2本の展覧会を開催します。前年の向井潤吉アトリエ館の開館30周年、清川泰次記念ギャラリーの開館20周年に続き、今年度は宮本三郎記念美術館が節目の20周年を迎え、無料開館日を設定するなど周年企画を実施します。

普及事業では、感染症に留意しつつ、コロナ禍前の事業規模に戻し、コロナ禍の影響によって、対面によるコミュニケーション力が低下していることを踏まえ、人と人の距離を近づけることを意識したプログラムの充実を図ります。3年目となるパフォーマンス・レジデンス・イン・ミュージアムも引き続き行っていきます。

コロナ禍を機に培ったオンラインコンテンツの配信や SNS なども活用し、様々な工夫を行って、幅広くアートに親しんでいただける機会を提供します。

《世田谷文学館》

令和6年度の企画展は3本実施します。「伊藤潤二展 誘惑」は、日本のみならず世界で支持されているホラー漫画家・伊藤潤二、初の大型企画展です。〈ホラー〉という言葉だけでは語りつくせない、作画の精密さと流麗さ、ストーリー展開の巧みさとユーモア、バックグラウンドとなるSF文学の継承にもスポットをあて、作家の全貌をお伝えします。秋は昨年逝去された世田谷文学館の名誉館長・菅野昭正追悼展「小説と映画の世紀」を開催します。2021年に上梓された本展タイトルの同名書をもとに、展示と上映会、トークイベント等で「小説」と「映画」の織りなす「二十世紀」に迫ります。後期企画展は「漫画家 森薫・入江亜季展」を開催します。当館が漫画をテーマにした展覧会に取り組み始めてからすでに17年経ちますが、その間にデジタル制作が主流となり、漫画の制作現場も変わりました。そこで、あえてこの時代に逆行するかのように直筆にこだわり、日々描き続けている世田谷在住の二人の若い作家に焦点をあて、〈作品を描く〉とはどういうことかをあらためて問い、これからの創作のゆくえを探ります。

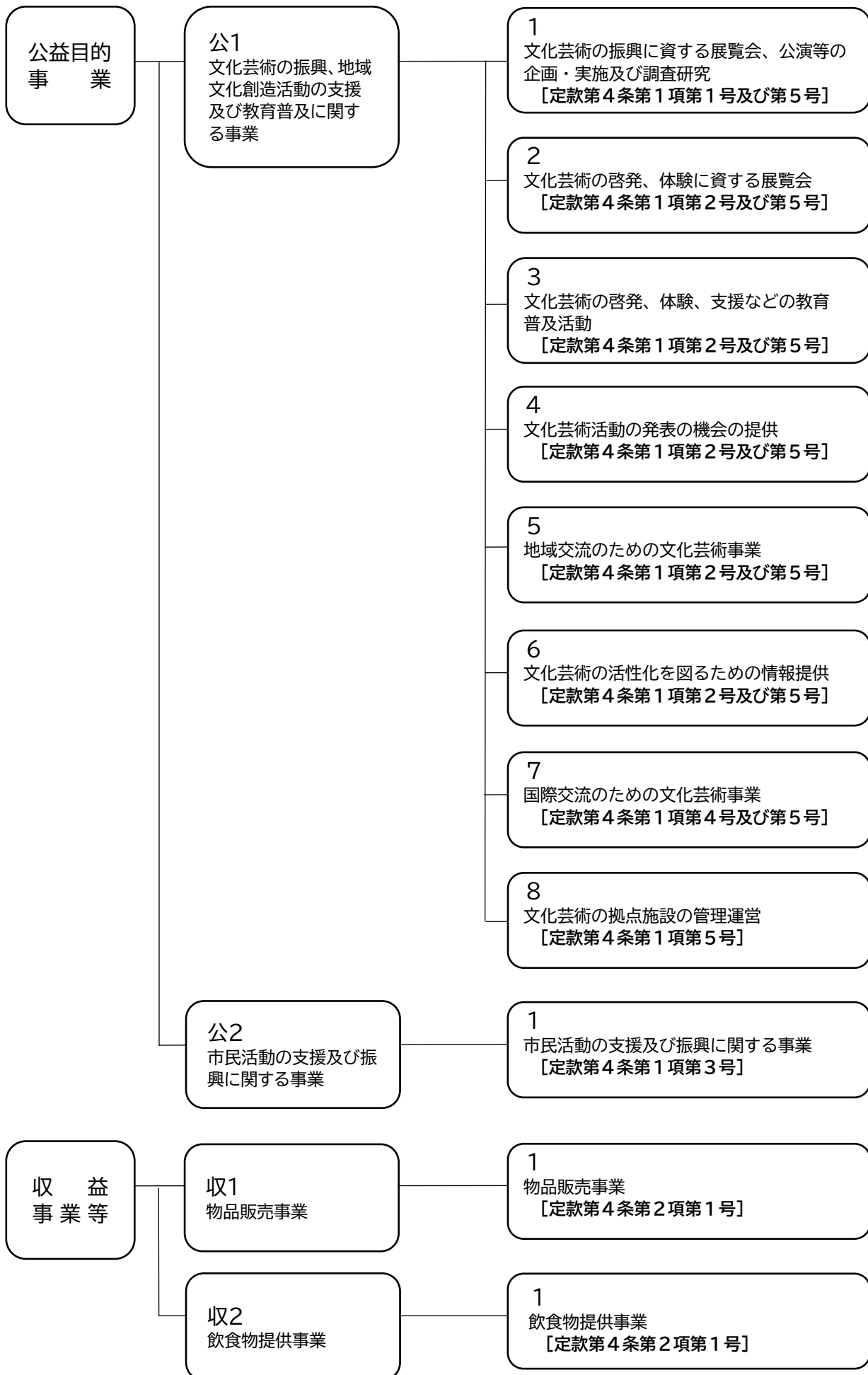
「コレクション展」前期は森鷗外の次女で随筆家の小堀杏奴の絵画作品を紹介する「小堀杏奴展」、後期は2025年に生誕90年を迎える「寺山修司展」を開催します。教育普及事業では好評を得ている「どこでも文学館」を継続実施、区内外での出張展示、区内学校・施設等で開催するワークショップなどを積極的に展開していきます。

昨年度に引き続いて資料調査研究分野にも注力し、「世田谷文学館収蔵資料〈調査と研究〉02」の刊行ほか、新たな収蔵資料の調査等も着実に進めていきます。

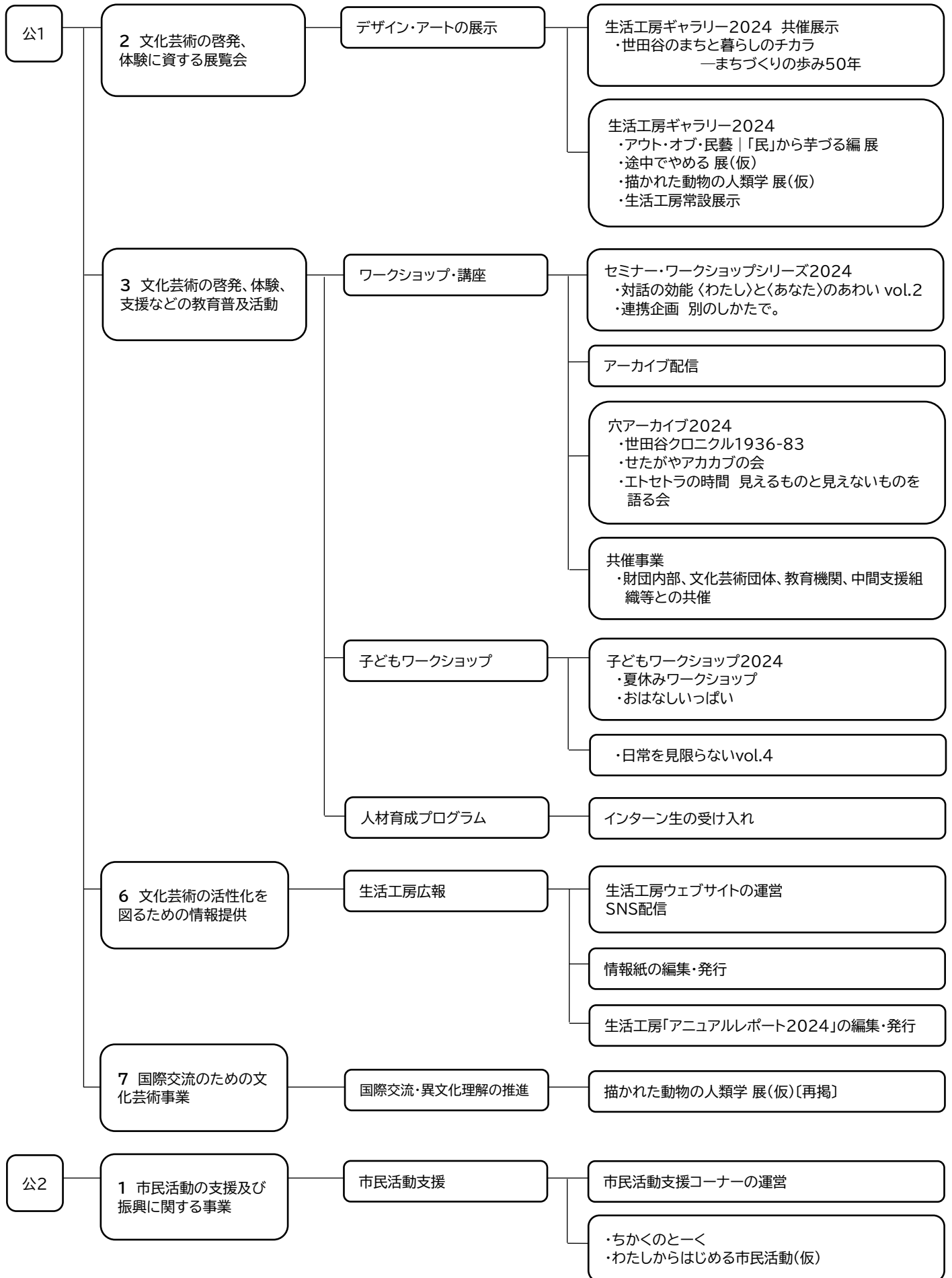
昨年度立ち上げた会員制度「セタブンパス」も本格的に始動し、当館ならではのオリジナルコンテンツの配信をはじめ、さまざまなサービスを提供いたします。

まもなく開館30周年を迎える世田谷文学館は、過去を振り返りながらも、引き続きニーズに即したあらたなチャレンジを続けてまいります。

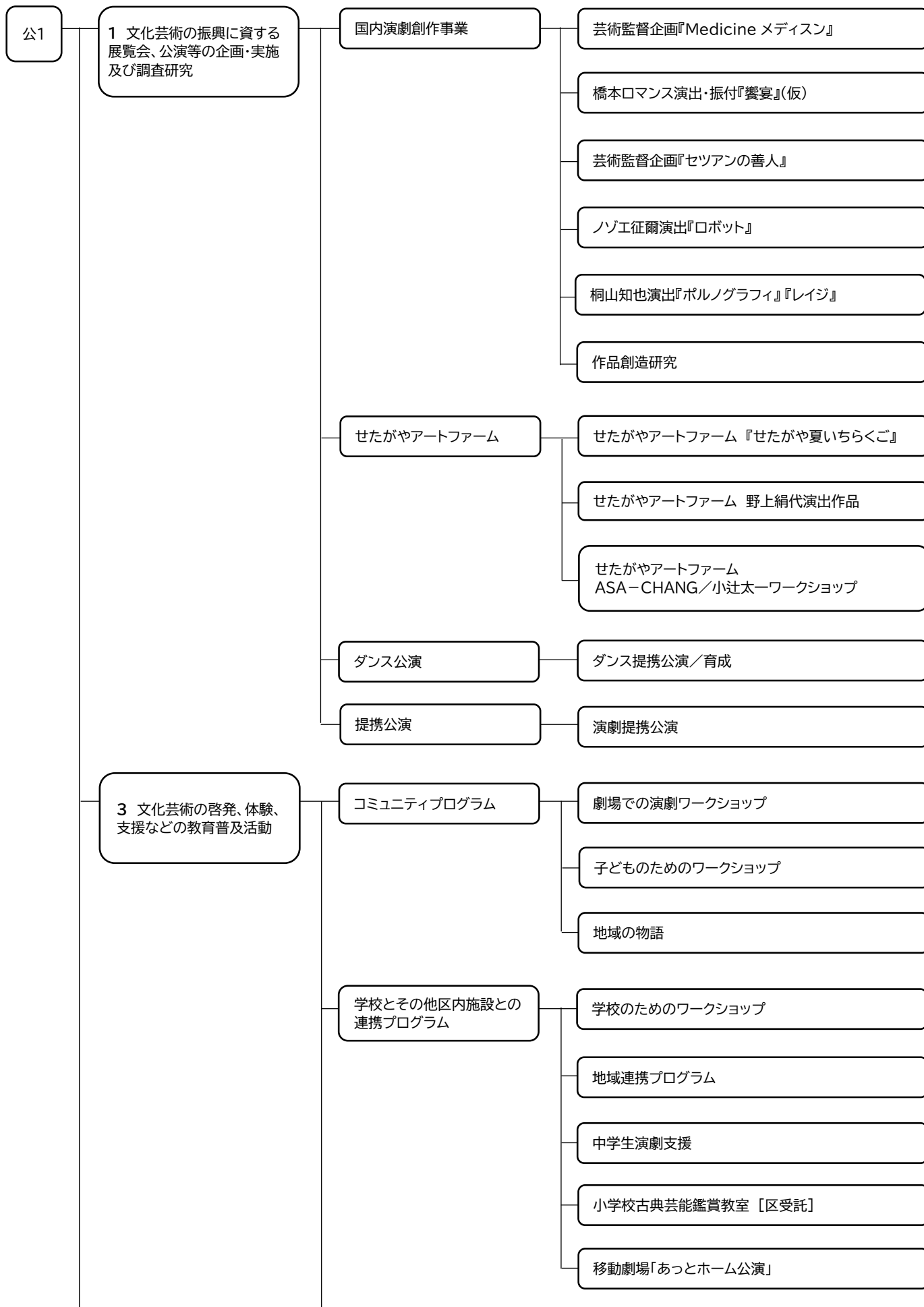
2. 事業の体系

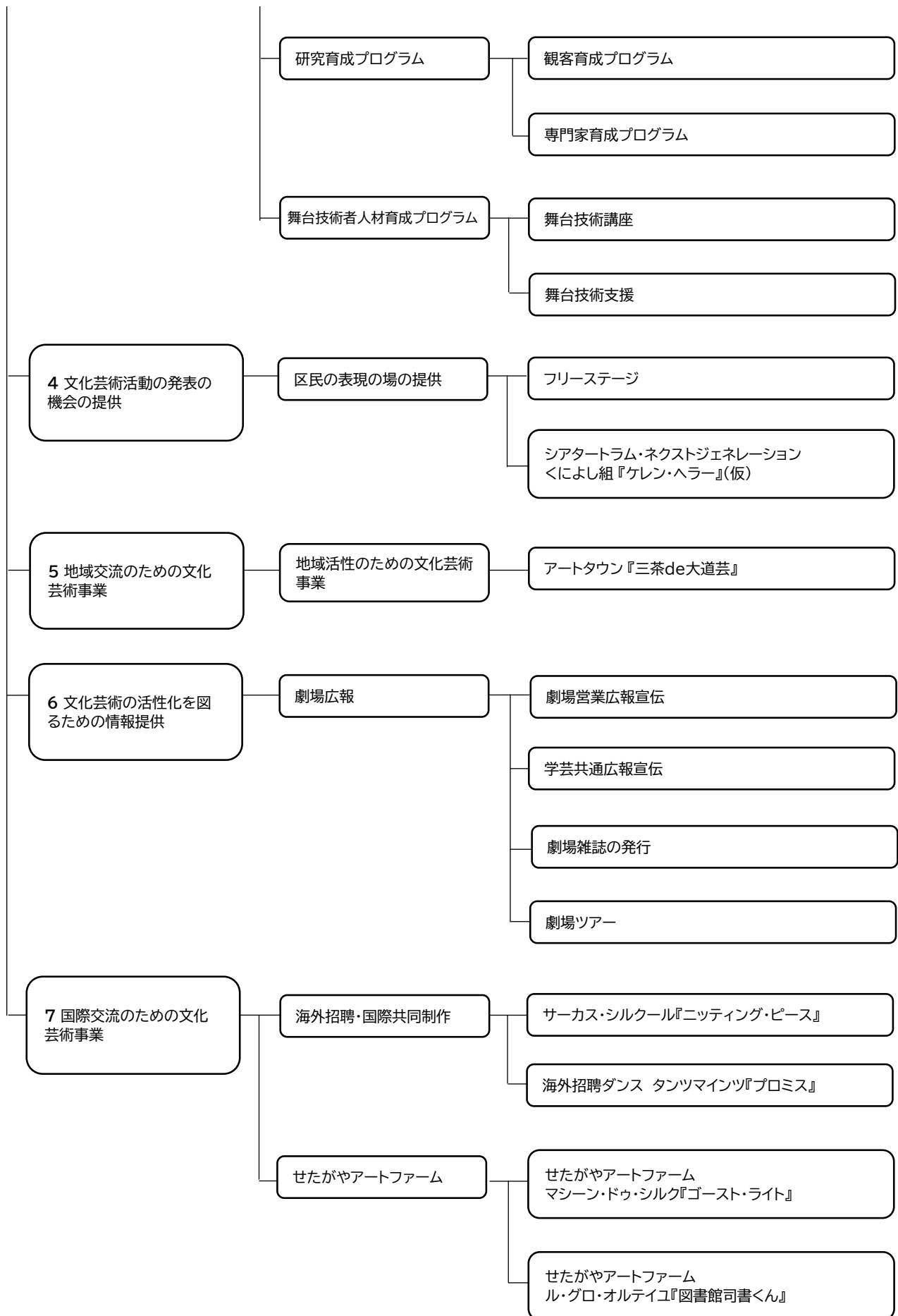


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

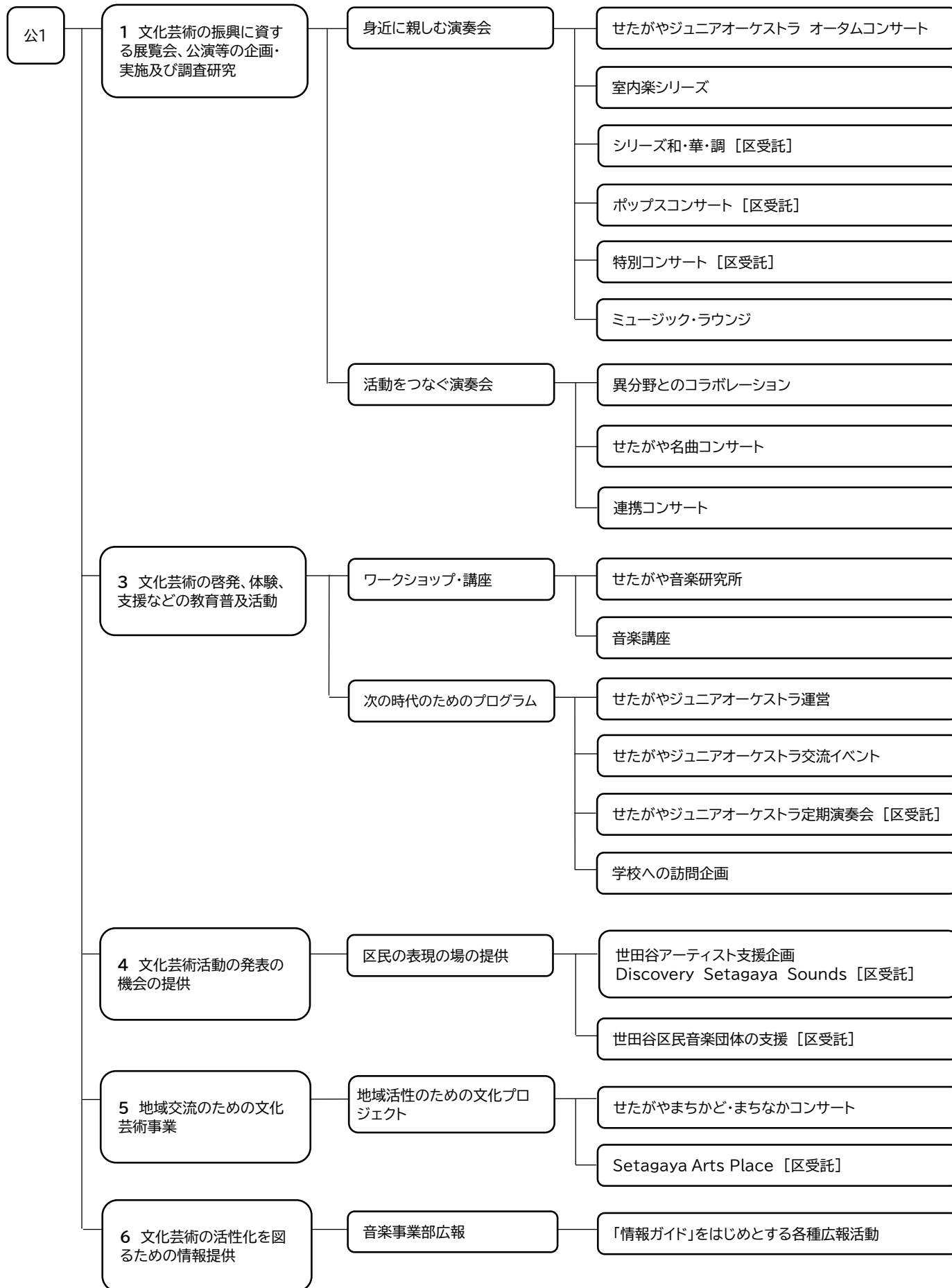


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

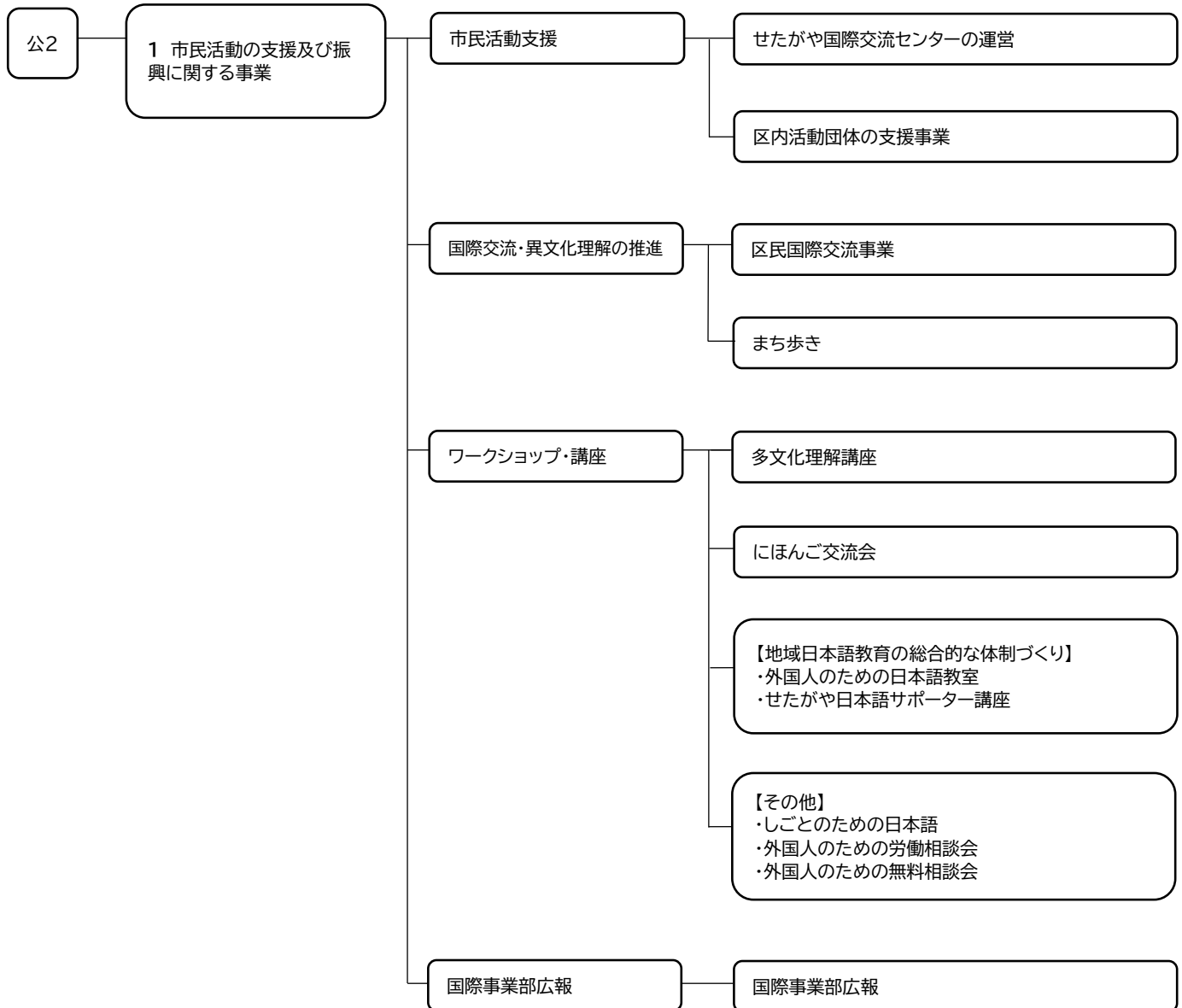




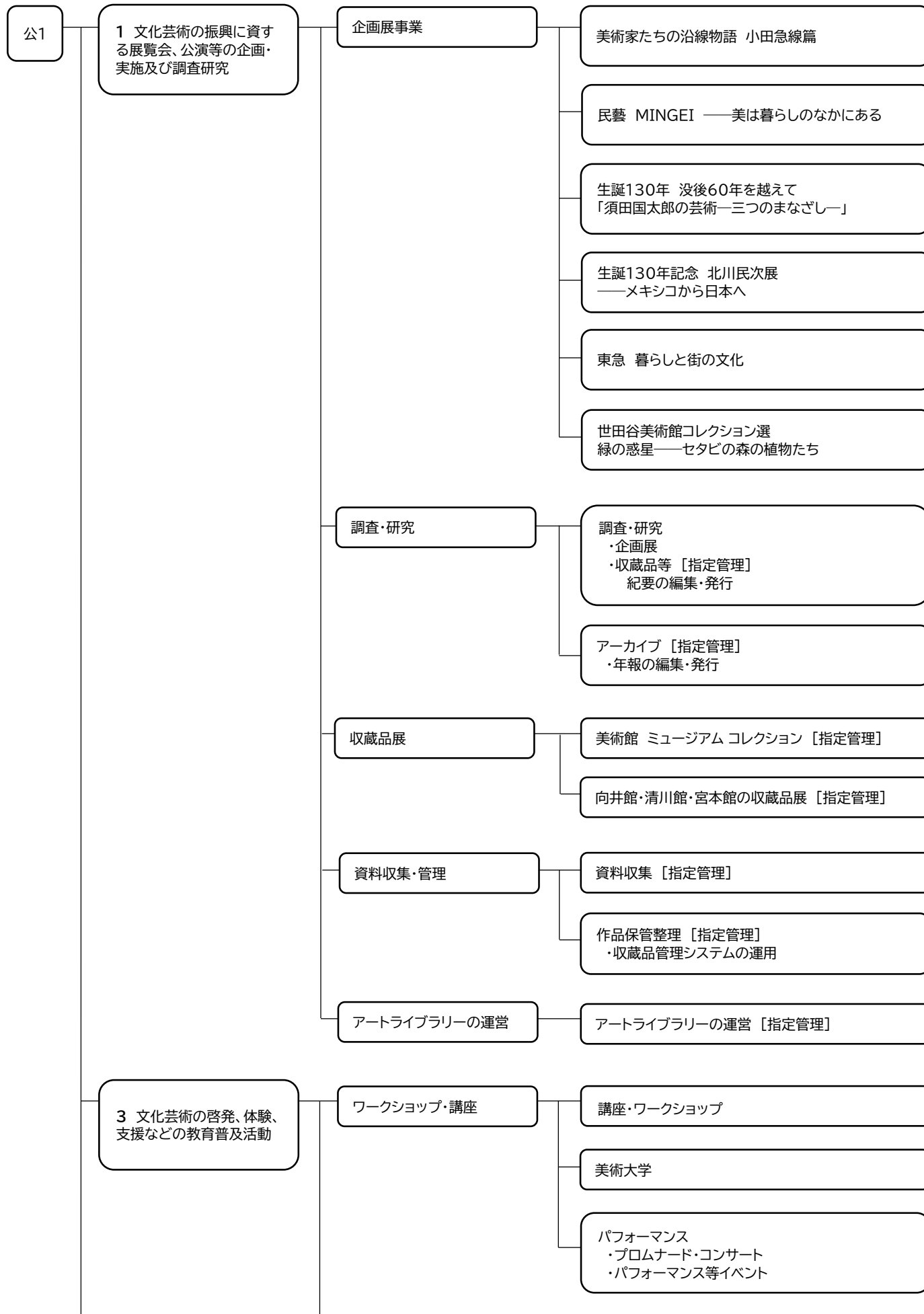
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

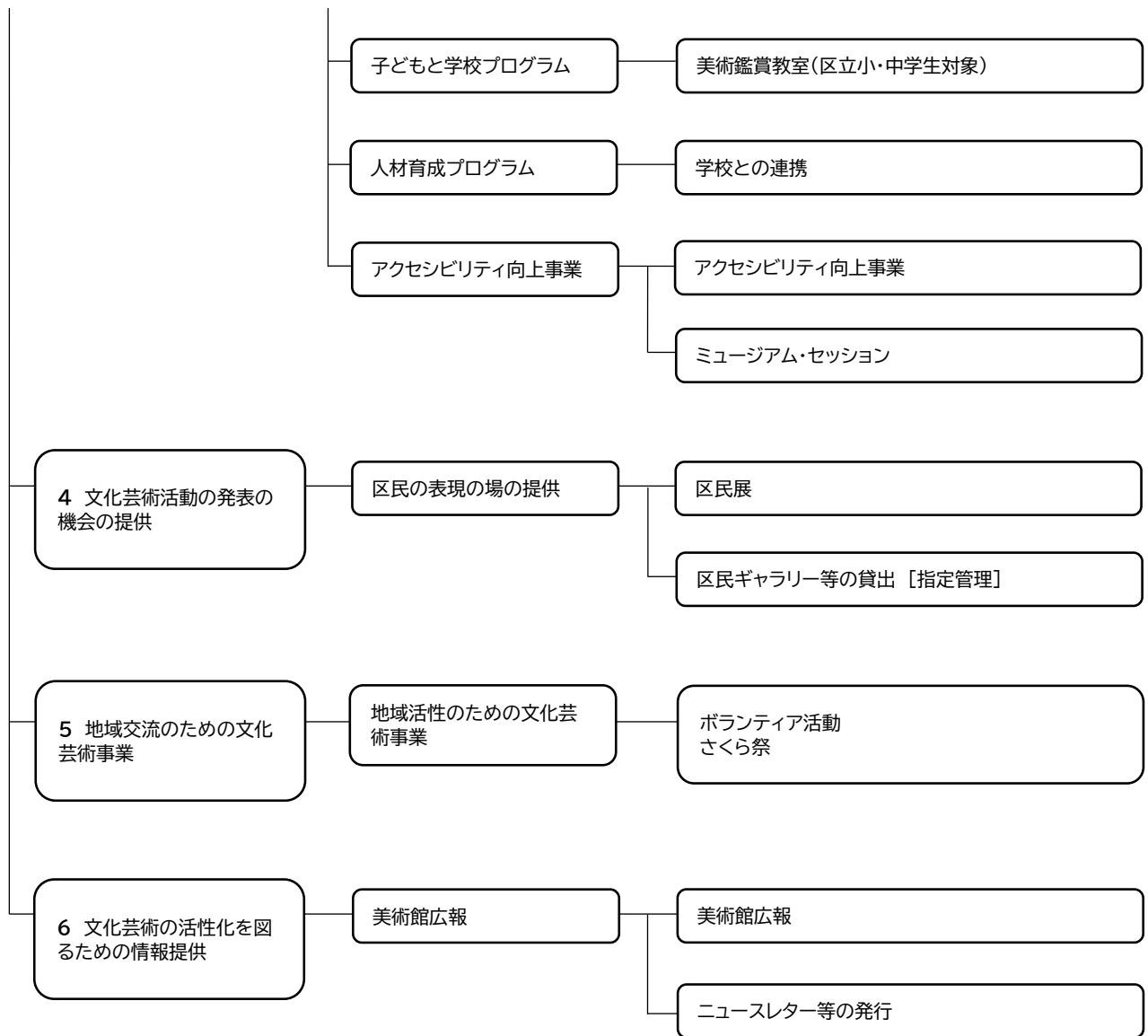


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

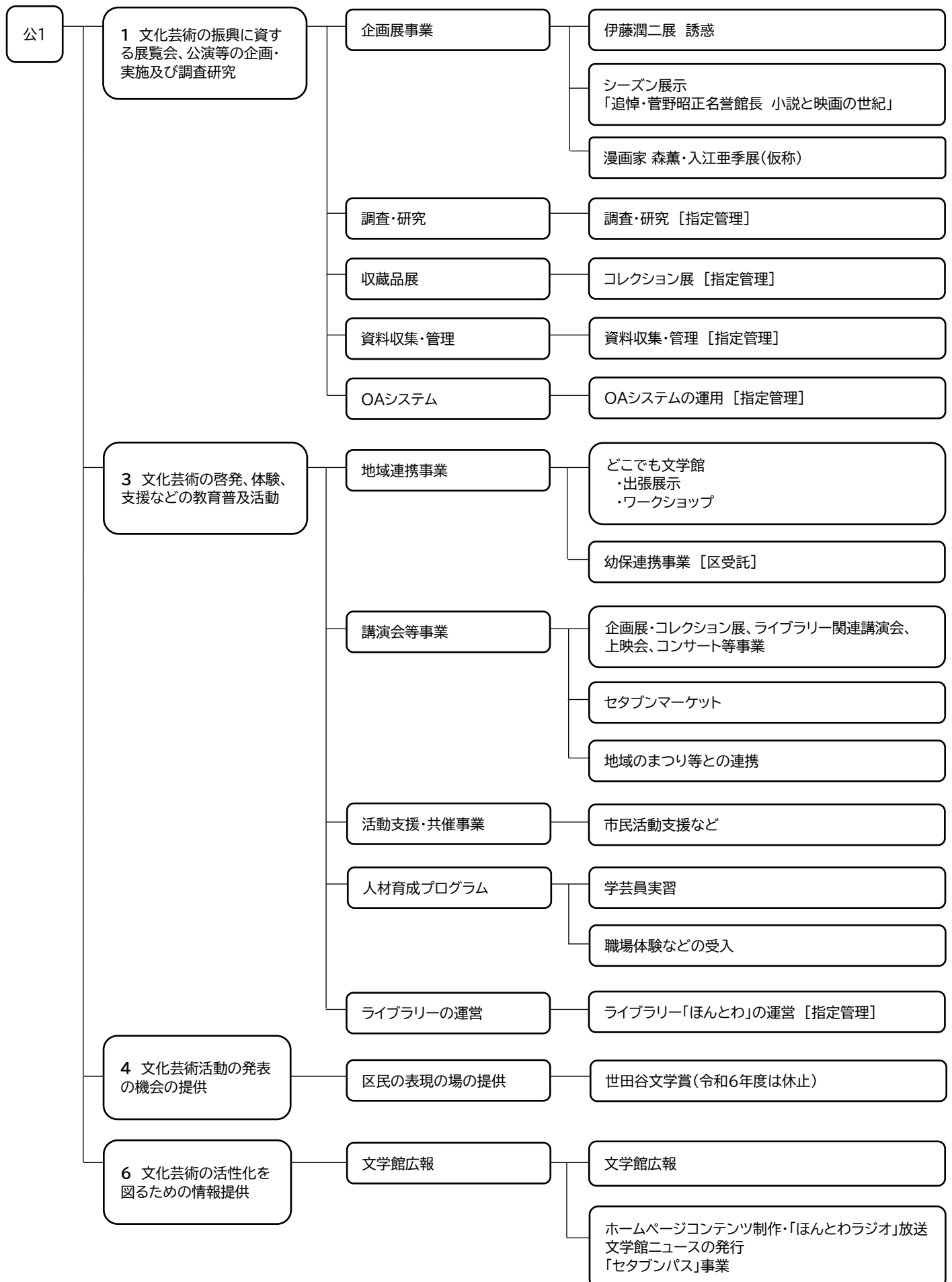


事業の体系 世田谷美術館

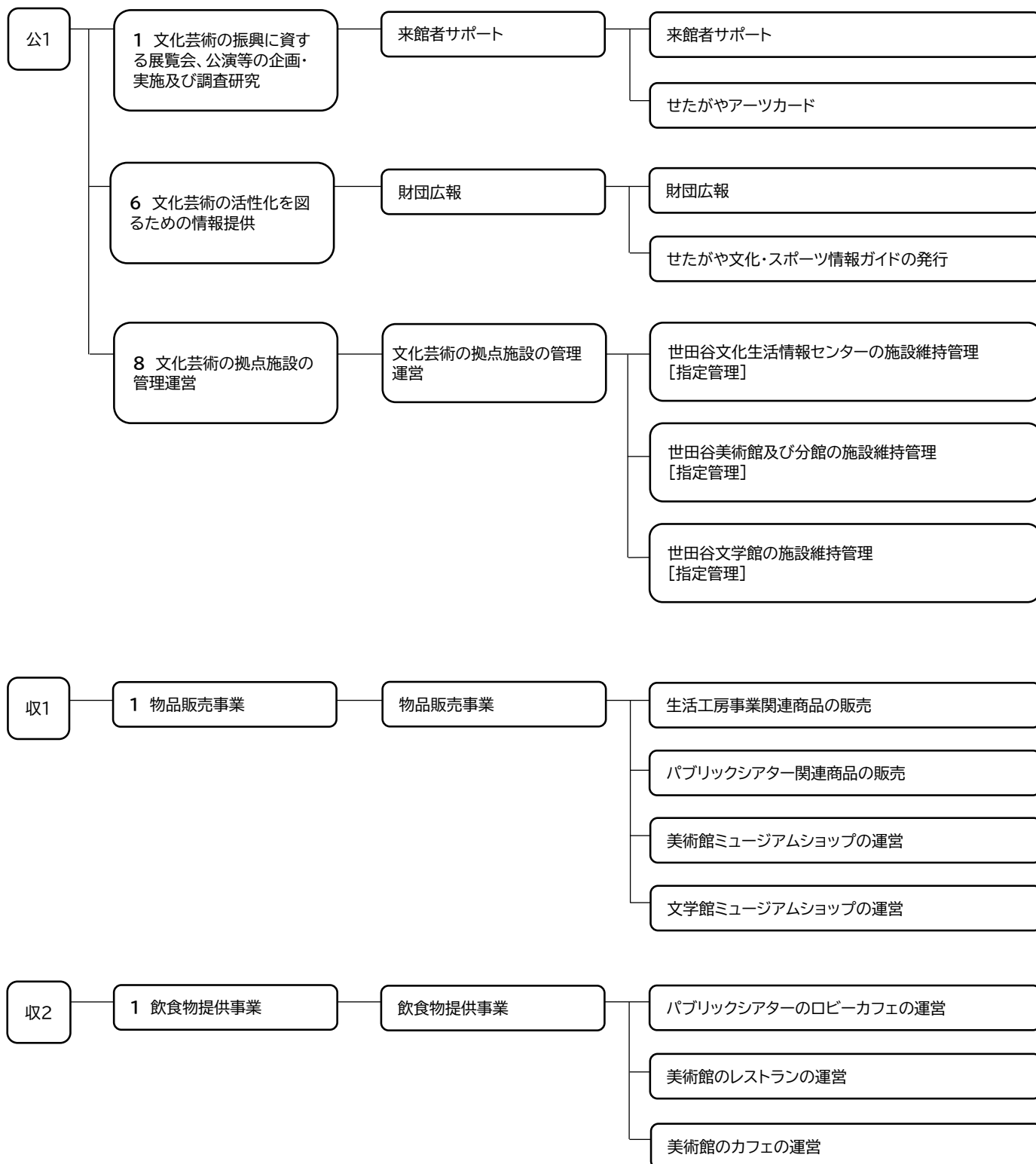




事業の体系 世田谷文学館



事業の体系 財団共通



3. 事業計画

(1)世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
デザイン・ アートの展示	【生活工房ギャラリー2024】 共催展示 世田谷のまちと暮らしのチカラ —まちづくりの歩み50年—	デザイン、生活文化に関する幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連事業としてトークイベントやワークショップも開催。 1975年頃から現在まで、50年にわたる住民参加のまちづくりの歩みを、「まちづくりの空間」「地形と都市計画」「グラフィックデザインと都市デザイン」「ワークショップと道具箱」「市民のデザイン」の5つパートによって紹介。	2,500人 (総計: 15,000人)	(1月31日)~ 4月21日	生活工房ギャラ リー、ワークショッ プルームB他
	アウト・オブ・民藝 「民」から芋づる編 MINGEIのB面!	アウト・オブ・民藝は、軸原ヨウスケと中村裕太が行う「民藝」の周辺をめぐるリサーチ活動。柳宗悦らの民藝運動の黎明期と今日におけるライフスタイルとしての「MINGEI」との食い違いを、「民(みん)」という言葉キーワードに、当時の雑誌や新聞などの出版物をはじめ、柳田國男、富本憲吉、その他周縁の人々の日記や書簡等を時間軸に沿わせて立体的にひも解く。	15,000人	4月29日~ 8月25日	生活工房ギャラ リー他
	途中でやめる 展(仮)	設立20年を迎えるハンドメイドファッションブランド「途中でやめる」。主宰の山下陽光は、著書『バイトやめる学校』等でも知られている。山下の活動を軸にした公開制作、展示、イベント等を通して、身近な物事の「価値」を考える。	15,000人	9月3日~ 12月26日	生活工房ギャラ リー他
	描かれた動物の人類学 展(仮)	人間が絵を描きはじめたところから「動物」は主要なモチーフだった。そして今も絵画に限らず彫刻、音楽、踊り、言葉による表現など、多様に描かれる。人はなぜ「動物」に惹かれるのか? 「描かれる」のはなぜ動物なのか? 動物が結ぶ人と自然とのつながり、その根源を探る展覧会。	10,000人	2025年 1月14日~ 4月20日	生活工房ギャラ リー他
	生活工房常設展示	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動的なコーナーで紹介する。	50,000人	通年	生活工房3Fロ ビー
ワークショッ プ・講座	【セミナー・ワークショップシリーズ2024】 対話の効能〈わたし〉と〈あなた〉のあわい vol.2	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部に附属する《共生のための国際哲学研究センター(UTCP)》とともに、「インクルーシヴ」をテーマにゲストを招きセミナーを開催する。 新しい視点や関係を創造したり、自分の信念に変化が起こるなど、様々な効能が注目されている「対話」。その多様なアプローチについて学び・体験しながら、日常における「対話」の可能性を再考するセミナー・シリーズ。	260人	未定	ワークショップ ルーム他
	連携企画 別のしかたで。	財団の他事業部や他団体と連携し、芸術文化を生活工房ならではのユニークな視点からとらえなおすセミナー。	90人	2025年 1月~2月	ワークショップ ルーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ ・講座	アーカイブ配信	セミナー・ワークショップの記録をYouTubeで公開するラーニングプログラム。	ページ ビュー数 30,000回	通年	オンライン
	【穴アーカイブ2024】	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。デジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開していく。			
	世田谷クロニクル1936-83	8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-84」。ウェブサイトの運営に加えて、美術館等への貸出を行うほか、アウトリーチ事業で活用を図る。	ページ ビュー数 10,000回	通年	オンライン
	せたがやアカカブの会	「世田谷クロニクル1936-83」に収録された映像をもとに、フィルムを介して思い出した個人的なエピソード、気付いたことや気になったことなど、スクリーンを囲みながら言葉にしていく定期上映会。(4回)	60人	通年	ワークショップ ルーム他
	エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」との協働で、視覚障害者の鑑賞機会の拡充や、相互理解の機会を創出。(2回)	オンライン 20人	通年	オンライン
	【共催事業】 財団内部、文化芸術団体、教育機関、中間 支援組織等との共催	施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを行う。	500人	通年	ワークショップ ルーム他
子どもワーク ショップ	【子どもワークショップ2024】	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。			
	夏休みワークショップ	夏休みの小中学生・親子を対象とした造形ワークショップを開催する。	100人	7月～8月	ワークショップ ルーム他
	おはなしいっぱい	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体をネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。活動団体のネットワーク構築と活性化を支援する。	1,000人	7月～8月	セミナールーム他
	日常を見限らないvol.4 バランスのワークショップ	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワークショップ・シリーズの第4弾を子ども～大人までを対象に実施。	80人	未定	ワークショップ ルーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
人材育成プログラム	インターン生の受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場を体験する場を提供する。	2人	8月	—
生活工房広報	生活工房ウェブサイトの運営 SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、レポートなどを掲載し、情報を発信する。SNS (X、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。	—	通年	—
	情報紙の編集・発行	生活工房の事業を紹介する情報紙を定期発行する。区内施設や全国の文化施設等で配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供する。	—	通年	—
	生活工房「アニュアルレポート2024」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。施設の総合的な情報を開示することで事業への関心を高め、既存利用者の満足度向上や新規利用者の獲得を図る。	1,500部	2025年4月	—
国際交流・異文化理解の推進	描かれた動物の人類学 展(仮)[再掲]	人間が絵を描きはじめたころから「動物」は主要なモチーフだった。そして今も絵画に限らず彫刻、音楽、踊り、言葉による表現など、多様に描かれる。人はなぜ「動物」に惹かれるのか？「描かれる」のはなぜ動物なのか？動物が結ぶ人と自然とのつながり、その根源を探る展覧会。	—	2025年 1月14日～ 4月20日	生活工房ギャラリー他
市民活動支援	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、打合せスペース、プリントアウトスペースなどを貸出。運営は市民活動団体に委託。	7,000人	通年	市民活動支援コーナー
	ちかくのとーく	世田谷区内で身近な地域課題に取り組む団体や人物を紹介しながら、市民活動への参加や支援を促進するトークプログラム。会場とオンラインで開催。(3回)	各回 会場20人 オンライン 100人	通年	市民活動支援コーナー、セミナールーム他
	わたしからはじめる市民活動(仮)	オールドメディアのイメージがある簡易印刷機を、新たな表現手段・メディアとして活用するデザイナーらと共に、自らを発信する冊子をつくる印刷ワークショップを開催。	50人	7月～9月	市民活動支援コーナー、ワークショップルーム他

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	芸術監督企画 『Medicine メディソン』	【作】エンダ・ウォルシュ 【翻訳】小宮山智津子 【演出】白井晃 アイルランド生まれの劇作家・映画脚本家で、イギリスを拠点に米英で活躍するエンダ・ウォルシュの2021年の戯曲『Medicine メディソン』を上演する。2021年エディンバラでの初演以来、アイルランド、ニューヨークで上演され、演劇界を席卷した話題作を、『バリーターク』『アーリントン[ラブ・ストーリー]』でウォルシュの戯曲を手掛け好評を博してきた白井晃芸術監督が、シアタートラムならではの空間を生かし演出し上演する。 世田谷から発信する日本演劇界のレパトリーとして誇れる創作を目指し、文化芸術の普及と発展を図る。(44回予定)	8,119人	5月6日～ 6月9日	シアタートラム
	橋本ロマンス演出・振付 『饗宴』(仮)	新時代の振付家・演出家として頭角を現す橋本ロマンスを中核アーティストとして、ファッションや音楽など、都会的な感性に溢れる「今」を感じることできる、同時代性の高い作品創造を目指す。 古代ギリシャの哲学者プラトンの著作「饗宴」を作品の起点とし、ソクラテスたち知識人が語った《愛(エロス)》や《智慧(イデア)》に対する現代人としての問いかけをダンスパフォーマンスとして提示するもの。2024年の東京で「饗宴」が開かれる時、そこに集まる者たちとは誰か。そこで語られる《愛》とは、《智慧》とは何か。ダンサーのみならず、個性的なパフォーマー、アーティストを迎え、不確かな世界に生きる我々の怒りや不安、愛を描きだす。古代ローマ神殿が劇場へと進化を遂げたごとく、劇場空間に神殿の姿を呼び覚ます。(6回予定)	2,400人	7月	パブリックシアター
	芸術監督企画 『セツアンの善人』	【作】ベルトルト・ブレヒト 【音楽】パウル・デッサウ 【上演台本・演出】白井晃 芸術監督の白井晃のライフワークであり、世田谷パブリックシアターでも定期的上演すべき作家として位置づけているベルトルト・ブレヒトの戯曲『セツアンの善人』を、既存の楽曲をベースにしつつ、さらに音楽劇の要素を高めた形態として新訳、新演出で上演する。こうした近代古典の傑作戯曲を今日的な新解釈で提示していくことは、公共劇場としての一つの役割でもあり、音楽劇の要素を高めることで幅広い観客層を取り込める作品となるよう努める。そのために、ポストトークの実施やSNSを駆使した発信、また視聴覚障害者の観客へ向けての鑑賞サポートも実施し、劇場へ多くの人々の来場をうながす方策も前向きに検討していく。(20回予定)	8,134人	10月～11月	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	ノゾエ征爾演出 『ロボット』	【作】カレル・チャペック 【脚色・演出】ノゾエ征爾 “ロボット”の語源でもあり、後世のSF概念に大きな影響を与えたカレル・チャペックの戯曲『ロボット(R.U.R)』を原作とし、第56回岸田國土戯曲賞を受賞後も多種多様な創作を担ってきたノゾエ征爾が脚本・演出を手掛ける新作演劇。100年以上前に書かれた戯曲でありながら、人工知能の利用や在り方が問いただされている現代を想起させる予言的傑作である。本作のテーマは劇場を訪れたことのない観客が興味を持ちやすく、舞台芸術に関心をもつ機会を創出しやすいと考える。またノゾエのエッジの効いた演出でシニカルに表現することで、現代社会そしてエンターテインメント業界におけるAI活用へ警笛を鳴らす一作としての創作を目指す。(20回予定)	3,500人	11月16日～ 12月1日	シアタートラム
	桐山知也演出 『ポルノグラフィ』『レイジ』	【作】サイモン・スティーブンス 【翻訳】小田島創志(『ポルノグラフィ』) 高田曜子(『レイジ』) 【演出】桐山知也 若手演出者の桐山知也を登用し、同時代のイギリスの人気劇作家サイモン・スティーブンスによる『ポルノグラフィ』と『レイジ』を、果敢にもダブルビルとして上演する予定。限られた人数の出演者が複数役を演じながら、この2作品を同時上演することで、オリンピックやユーロ離脱という歴史的な事件の渦中にあった市民の行為や思いを、常に日常生活の隣に潜む「非」日常的な側面から刺激的に描き出していく。また出演者に若手も多く登用し、次世代の実演家の育成も兼ねた作品づくりに努める。(13回予定)	2,880人	2025年 2月～3月	シアタートラム
	作品創造研究	次年度以降の上演演目としての可能性を探るため、調査研究の一環として、海外戯曲の翻訳(粗訳)、新企画の為の演目調査を先行して行い、世田谷パブリックシアター企画制作としての作品に適しているか否かを検討する。また、次世代を担うスタッフやキャスト達の出会いの場としても機能するワークショップを開催することにより、実演家の若手育成にも貢献する。事業の実施に着手する以前から作品検討を行うことにより、より完成度の高い舞台作品を創造する環境作りを行い、劇場のレパートリー作品を充実させていく。	—	通年	稽古場他
せたがやアートファーム	せたがやアートファーム 『せたがや夏いちらくご』	当代随一の人気と実力を誇る春風亭一之輔のプロデュースによる、寄席企画。落語をはじめとした寄席芸能をより身近に感じ、伝統的・本格的な大衆芸能の面白さ、話芸の魅力を伝える。例年、地域住民の来場率が高く、寄席や演芸を好む地域住民にとってもニーズが高い事業であり、普段劇場に足を運ぶ機会が少ない住民にとっても、劇場を身近に感じる機会として定着を図り、将来の劇場を支える観客育成に繋げる。 また鑑賞だけでなく、解説や参加できるコーナーを設けるなど、オリジナリティあるプログラムを通してプロの技や話芸の難しさ、楽しさを知ること、より多角的に寄席芸能に親しむ機会を創出する。(2回)	1,020人	7月21日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
せたがやアートファーム	せたがやアートファーム 野上絹代演出作品	劇作家・別役実が手掛けた傑作の童話・絵本を、演劇・ダンス・映像など幅広い分野で活躍する注目の演出家・野上絹代が再構築して作る、大人も子どもも楽しめる新作演劇作品。中学校の国語の教科書にも掲載されていた「空中ブランコのりのキキ」をはじめとしたサーカスをテーマにした作品を中心に構成し、サーカスパフォーマーによるサーカスアクロバットを取り入れた作品とする。演劇・サーカス・アクロバット・音楽など、多様な要素を盛り込む。来場者に劇場空間を存分に体験してもらうため、舞台上に設置された特設ステージでの上演を予定。(11回予定)	5,980人	8月	パブリックシアター
	せたがやアートファーム ASA-CHANG 小辻太一ワークショップ	①ASA-CHANG「タイコワークショップ(仮)」 東京スカパラダイスオーケストラ創設者で、現在は「ASA-CHANG&巡礼」として活動するドラマー&パーカッショニスト、ASA-CHANGによるワークショップ。タイコの組み立て、演奏、解体をおこない、楽器のしくみや音楽の楽しさを学ぶ。親子で参加可能。(2回予定) ②小辻太一「ASOBOU/ジャグリングワークショップ(仮)」 フランスを拠点に活動するジャグラー小辻太一による、1本の棒をつかったワークショップ。グループで物をつかって遊びながら作品創作を体験し、最終日には発表会を開催予定。(5日間)	75人	8月12日～ 20日	シアタートラム
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。 ・OrganWorks ・大駱駝艦 ・イデビアン・クルー ・倉田翠 akakilike ・ケダゴロ ・目黒陽介 ・山崎広太	5,500人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。 ・シス・カンパニー ・チェルフィッチュ ・花組芝居 ・日本舞台音響家協会 ・泥棒対策ライト ・スペースノットブランク ・贅沢貧乏	23,000人	通年	パブリックシアター/シアタートラム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
コミュニティプログラム	劇場での演劇ワークショップ	1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ「デイ・イン・ザ・シアター」を中心に、テーマを設定した上で複数日にわたって行う演劇ワークショップ。子どもを持つことなどをテーマに「20代から30代のための演劇WS」を実施することを予定している。(30回予定)	840人	通年	稽古場他
	子どものためのワークショップ	子どもを対象に、演劇ワークショップを実施する。 ①「夏休みWS」学校の長期休暇に合わせたWS。 ②「ごちゃまぜWS」学齢で区切らないWSとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供する。 ③「絵本読み聞かせWS」未就学児に向けたプログラムを展開する。(57回予定)	1,080人	通年	稽古場他
	地域の物語	区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを3か月をかけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアター・トラムにて広く地域の観客に向けて上演する。 また、2021年度に創作した『うけいれる身体、うけいられない身体』の地方ツアーを2か所予定している。(通年ワークショップ32日、発表会2回予定)	798人	通年	稽古場/シアター・トラム他
学校とその他区内施設との連携プログラム	学校のためのワークショップ	世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の3つの事業を実施する。 ①「ワークショップ巡回団」：進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップを実践する。 ②「ともにやの部屋」：障害当事者のライフストーリーからなる小作品を巡回する。 ③「先生のためのワークショップ」：小中学校の先生が授業で活用するためのヒントとなるワークショップや事業報告会を年間を通じて劇場内外で実施する。	8,785人	通年	世田谷区内の各小中学校/稽古場
	地域連携プログラム	非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。 本年度は、過年度に引き続き下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人他と連携してアートのお祭り「極楽フェス」を開催する他、世田谷区玉川地域社会福祉協議会事務所との企画等を予定している。	180人	通年	世田谷区内施設他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	中学生演劇支援	中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供する。 ①「中学校支援」 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援。支援内容は、演劇区大会支援を中心に、学校に訪問しワークショップを行う等、希望に応じたものとする。 ②「世田谷パブリックシアター演劇部」 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施する。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。	600人	通年	世田谷区内各小 中学校/区民会館 他
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定)	6,000人	6月～ 2025年2月	世田谷区内 小学 校体育館
	移動劇場「あっとホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じる。また、劇には施設の職員さんが登場する場面や、見ている人たちが物語に参加できる仕掛けを用意して、その場にいる人たち全員が劇を介して一体感を持てるように工夫する。(13回予定)	1,000人	5月～6月	区内特別養護老 人ホーム、デイ サービス、障害者 施設
研究育成プ ログラム	観客育成プログラム	地域市民及び観客を対象に、以下の2企画を実施する。 ①『世田谷パブリックシアターダンス食堂』(劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク) ②「トーク企画」(舞台芸術に対する視野を広げ、批評的な視点を獲得するためのトーク企画を対談形式で実施)	180人	通年	稽古場/セミナー ルーム他
	専門家育成プログラム	大学生や進行役、研究者を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ」を設定し、ラボメンバーを募集する。今年度は、「福祉」「教育」「まちづくり」を3本柱に、レクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムを行い、一部のレクチャーやワークショップは一般にも公開する。(21回予定)	320人	通年	パブリックシア ター/シアタートラ ム/稽古場/セミ ナールーム他
舞台技術者 人材育成プ ログラム	舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。また、安全セミナー編、劇場構造講座など多様なプログラムを設ける。(5講座予定)	290人	通年	パブリックシア ター/シアタートラ ム
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。	—	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体を公募。世田谷パブリックシアター(バレエ部門、ダンス部門)とシアター tram(音楽部門)にて、各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ね、日ごろの成果を発表する。(5日間5回)	3,000人	4月28日～5月6日	パブリックシアター/シアター tram
	シアター tram・ネクストジェネレーションくによし組『ケレン・ヘラー』(仮)	2008年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアター tram・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「ドラマ(演劇)」「フィジカル(ダンス、サーカス等身体表現)」とジャンルを分け、隔年で実施。今年度は「ドラマ(演劇)」部門を実施する。シアター tramが次代を担う若手実演家・実演団体にとっての創造・活動の“拠点”となることを目指し、世田谷区から全国へ発信する長期的なプログラムとする。(5回予定)	1,000人	12月	シアター tram
地域活性のための文化芸術事業	アートタウン『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業)	200,000人	10月19日、20日	三軒茶屋駅周辺商店街他
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知する。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行う。	—	通年	—
	学芸共通広報宣伝	学芸部門で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開する。	—	通年	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2024年度は2023年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。	1,000部	通年	—
	劇場ツアー	世田谷パブリックシアターおよびシアター tramの施設や機構などをツアー形式で参加者に紹介する。ツアーのナビゲートは芸術監督または劇場職員が主体的に行う。(4日間)	250人	通年	パブリックシアター/シアター tram

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
海外招聘・国際共同制作	サーカス・シルクール 『ニッティング・ピース』	スウェーデンの首都・ストックホルムを拠点とし、スカンジナビアを代表する現代サーカスのカンパニー“サーカス・シルクール”を招聘する。 年齢、性別、国籍、障害などあらゆる境界を崩そうと、様々な社会問題に焦点をあて、メッセージ性の強い作品を発表してきたシルクールの人気作で、10年もの長い間ツアーを行ってきた『ニッティング・ピース(=平和を編む)』を紹介。多彩な表現を包容する現代サーカスの芸術性と、昔ながらのサーカスに期待される高度なテクニックを兼ね備えたサーカス・シルクールの作品を紹介することで、舞台芸術を愛する人々からパフォーミングアーツに馴染みのなかった方々まで、あらゆる観客層に劇場公演の楽しさを味わっていただく機会とする。また、編み物やサーカスを題材にした、人と人のつながりや信頼関係を築く一般向けワークショップを開催する。(3回予定)	1,350人	11月19日～ 24日	パブリックシアター
	海外招聘ダンス タンツマインツ『プロミス』	ドイツ中西部のマインツ州立劇場に帰属するダンスカンパニー タンツマインツの来日公演。近年の代表作として高い評価を得ている、シャロン・エイヤル振付『プロミス』を上演する。州立劇場は座付きの劇団、ダンスカンパニーを有し、その点においては日本の劇場とは異なる部分があるものの、公演の実施のみならず青少年向けの事業や、ワークショップなど、地域に根差すプログラムを展開しており、日本の公共劇場が学ぶべき点、情報交換すべき点も多い。 公演の他、ドイツの現代ダンスの状況や、ドイツの劇場事情などについてのレクチャートーク、ワークショップなどを開催する。(3回予定)	1,200人	2025年 2月下旬～ 3月上旬	パブリックシアター
せたがやアートファーム	せたがやアートファーム マシーン・ドゥ・シルク『ゴースト・ライト』	カナダのケベック州を代表する現代サーカスカンパニーのひとつ、マシーン・ドゥ・シルクの『ゴースト・ライト』を招聘する。ノンバーバルで全年齢を対象として創作されているマシーン・ドゥ・シルクの作品は、こどもから大人まで使用言語に関わらず気軽に楽しむことができる。ファミリー層へ向けた作品を紹介することで、パフォーミングアーツに馴染みのない方々にも気軽に来場できる機会をつくとともに、日本国内で触れることの少ない海外の上質な作品の観賞の機会を提供する。また、子ども向けのワークショップも開催し、身体を動かす面白さを体験してもらう。(3回予定)	980人	7月27日～ 29日	パブリックシアター
	せたがやアートファーム ル・グロ・オルティユ『図書館司書くん』	カナダ・ケベック州を拠点にファミリー向けの作品を多数発表しているル・グロ・オルティユの人気作で、子どもたちになじみ深い図書館を舞台に繰り広げられるコメディ・サーカス『図書館司書くん』を招聘する。日常では見る機会のない高度なサーカステクニックと世界共通の笑いを混ぜ合わせた、ル・グロ・オルティユのサーカス作品は、未就学児の子どもから気軽に楽しむことができる。ファミリー層へ向けた作品を紹介することで、パフォーミングアーツに馴染みのない方々にも気軽に来場できる機会をつくとともに、日本国内で触れることの少ない海外の上質な作品の観賞の機会を提供する。また、子ども向けのワークショップも開催し、身体を動かす面白さを体験してもらう。(4回予定)	500人	8月8日～ 10日	シアタートラム

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
身近に親しむ 演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。全体合奏を行うほか、セクションごとのアンサンブル曲も交え、バラエティ豊かな公演を目指す。	620人	10月27日	世田谷区民会館
	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。多彩で質の良い音楽を提供する。ヴァイオリンとチェロの公演を1公演ずつ実施の予定。	560人	9月28日 2025年 3月20日	世田谷区民会館 (9月)/成城ホール(3月)
	シリーズ和・華・調 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	日本の伝統音楽を、第一級の音楽家による演奏に、親しみやすい演出を加えて、堪能していただく公演シリーズ。新区民会館の開館を記念して、今藤政太郎の代表作、及び歌舞伎舞踊による特別公演を行う。	700人	8月11日	世田谷区民会館
	ポップスコンサート 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	新区民会館の誕生を祝い、おなじみのポップスの名曲を集めて、区民に贈るコンサート。せたおんスペシャル・プロデューサー宮川彬良が、特別編成の楽団を率いて演奏する。	850人	11月2日	世田谷区民会館
	特別コンサート 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	せたがやジュニアオーケストラと連携している東京フィルハーモニー交響楽団による公演。新区民会館で、本格的なオーケストラの演奏を区民に親しんでもらう。	750人	2025年 3月15日	世田谷区民会館
	ミュージック・ラウンジ	大人がリラックスして楽しめるコンサートのシリーズ。会社勤めなどで忙しく、生の音楽に触れる機会の少ない人たちに向けて、肩の凝らない内容の演奏会を開催していく。3回実施の予定。	750人	5月17日 11月15日 他	北沢タウンホール
活動をつなぐ 演奏会	異分野とのコラボレーション	池辺晋一郎音楽監督が、様々な分野で活躍しているゲストを迎え、音楽にまつわるトークと演奏を展開する、世田谷オリジナル企画。今年度は、鉄道と音楽をテーマにする予定。	240人	2025年 3月1日	成城ホール
	せたがや名曲コンサート	世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する恒例のコンサート。実施にあたっては、両団と実行委員会を形成して、運営にあたる。フォーレのレクイエムを演奏の予定。	1,400人	2025年 2月23日	昭和女子大学 人見記念講堂
	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。	未定	未定	未定
ワークショップ ・講座	せたがや音楽研究所	宮川彬良スペシャル・プロデューサーが、新しい視点をもって、音楽の魅力を紹介していく、楽しみながら学べるサロンのような場をつくっていく。	100人	未定	未定

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ ・講座	音楽講座	公演に因んだもの、また音楽にいろいろな角度から焦点をあてたものなど、区民がいろいろな形で音楽の楽しさ、おもしろさ、奥深さに触れられるような講座を開催していく。	90人	未定	未定
次の時代の ためのプログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。	85人	通年	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ交流イベント	創立15周年を迎えるせたがやジュニアオーケストラの存在を社会に広め、区民に浸透させていくために行う、団員と区民との交流イベント。	200人	未定	未定
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	年度末に、メンバー全員が揃って、一年間取り組んだ活動の成果を問う演奏会を開催する。同時に、広く区民にジュニアオーケストラへの関心を広げていくことを目指す。待望久しい新世田谷区民会館での開催。	600人	2025年 3月16日	世田谷区民会館
	学校への訪問企画	多くの子どもたちに身近に音楽を感じてもらうために、体育館などで開くコンサートやワークショップなどを通じて、学校に生の音楽を届ける。	1,000人	未定	未定
区民の表現 の場の提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施して、今後の表現活動のきっかけをつくる。今年度は、新世田谷区民会館の開館を祝した特別公演とする。	700人	2025年 1月26日	世田谷区民会館
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、アマチュア3団体の活性化、発展を側面から支援する。	3団体	通年	—
地域活性の ための文化プ ロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成のバンドなどによるコンサートを実施する。	1,000人	未定	未定
	Setagaya Arts Place [区受託]	世田谷区の主催するイベントや地域のにぎわいの核となっている商店街のイベントに、芸人やアーティストを派遣し、イベントをさらに盛り上げるとともに、区民に身近な場所で気軽に文化・芸術にふれる機会を提供する。	未定	未定	未定
音楽事業部 広報	「情報ガイド」をはじめとする各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。	—	通年	—

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
市民活動支援	せたがや国際交流センターの運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報の他、国際交流などの地域活動団体の紹介を行う。	4,000人	通年	せたがや国際交流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体に対して、事業のPRや事業連携を行う。	10団体	通年	せたがや国際交流センター
国際交流・異文化理解の推進	区民国際交流事業	【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。	未定	未定	未定
		【国際交流inせたがや】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施する。	200人	5月11日	ワークショップルーム、セミナールーム
	まち歩き	文化施設や商店街、様々な地域イベントをめぐるツアーなどを企画し、世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見しながら交流することで、地域で活動するきっかけをつくる。	20人×2回	未定	未定
ワークショップ・講座	【多文化理解講座】	主に区民を対象として、文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、共生社会実現に向けての一助とする。			
	①イスラム文化に触れてみよう～東京ジャーミイを訪ねる	昨年度好評だった、渋谷区大山町にある日本最大のモスク「東京ジャーミイ」の見学会とイスラム文化を学ぶ講座を実施する。	30人	4月27日	渋谷区大山町
	②外国人のための”英語で野点”	瀬田四丁目旧小坂緑地内において、英語で野点を実施する。あわせて、旧小坂緑地も紹介する。せたがやトラストまちづくりの協力を得る。	20人	5月18日	瀬田四丁目旧小坂緑地
	③国連UNHCR関連事業	世界難民の日に合わせて国連UNHCRとの関連事業「難民映画祭パートナーズ上映会」を実施する。	100人	6月21日	成城ホール
	④夏休み子ども企画	小学校5,6年生を対象に大使館を訪問する	10人	7月	大使館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	⑤やさしい日本語によるコミュニケーションを学ぶ(仮)	日本語が少しだけ分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を実施する。	60人	9月	セミナールーム
	⑥ウィーン市ドゥプリング区を知る(仮)	姉妹都市提携40周年を機に、ウィーン市ドゥプリング区を知る。	60人	10月	ワークショップルーム
	⑦外国の料理を学ぶ(仮)	日本人を対象に外国の料理を学び、その国の文化を知る。	10人	2025年2月	ワークショップルーム
	にほんご交流会	外国人と日本人がグループに分かれ、やさしい日本語を使った交流を行う。	未定	年4回程度	テンプル大学他
	【地域日本語教育の総合的な体制づくり】 外国人のための日本語教室	令和元年6月施行「日本語教育の推進に関する法律」のもと、在留するすべての外国人が日本社会で生活に必要な日本語を身につけられるよう講座を開催する。	20人×5回	6月、7月、9月、10月、12月	セミナールーム オンライン
	せたがや日本語サポーター講座	日本語支援ボランティアをこれから始める方や初心者を対象とした①初級講座と日本語支援ボランティアとして1年以上活動中の方を対象とした②中級講座を実施する。	①40人×2回 ②30人×1回	未定	セミナールーム オンライン
	【その他】 しごとのための日本語	厚生労働省が実施している定住外国人のための「しごとのための日本語」の講座を区(経済産業部)と共催して実施する。	20人×34回	5月～7月	セミナールーム、 ワークショップルーム
	外国人のための労働相談会	厚生労働省が実施している定住外国人のための労働相談会を区(経済産業部)と共催して実施する。	未定	未定	未定
外国人のための無料相談会	外国人在留支援センターが実施する、主に留学生向けに仕事に関する専門家相談会を共催で実施する。	未定	未定	未定	
国際事業部 広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人への生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ウェブサイト、Facebook、X、Instagram、情報ガイド、メールマガジン、ニュースレター)	—	通年	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	美術家たちの沿線物語 小田急線篇	世田谷区内を走る鉄道と、その沿線で活動した美術家たちの創作と交流の足跡を辿る「沿線物語」シリーズの完結篇。1927年に新宿～小田原間で開通した小田原急行鉄道(現・小田急電鉄)の沿線を取り上げる。白と黒の会(経堂界限)や、砧人会(成城界限)といった美術家たちの集いをはじめ、画家の高山辰雄や横尾忠則、写真家の荒木経惟など、沿線ゆかりの作家たちが織りなすさまざまな物語を紹介する。	1,000人(総計:10,000人)	(2月17日)～4月7日	世田谷美術館
	民藝 MINGEI ——美は暮らしのなかにある	約100年前に思想家・柳宗悦が説いた民衆的工芸、「民藝」。日々の生活のなかにある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる、この「民藝」のコンセプトが、いま改めて注目されている。本展では、民藝を「衣・食・住」というテーマでひも解き、約150件の品々を展示するほか、今なお続く民藝の産地に作り手を訪ね、その手仕事を紹介する。現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころとなる。	54,000人	4月24日～6月30日	世田谷美術館
	生誕130年 没後60年を越えて 「須田国太郎の芸術—三つのまなざし—」	京都に生まれ、美学・美術史家として世に出る一方、自ら絵筆を執り、「東西の絵画の総合」を掲げて独自の絵画表現を追求した画家・須田国太郎(1891-1961)。本展では、初期から晩年までの代表作のほか、若き日にヨーロッパ各地を訪れ撮影した写真や、造詣の深かった能・狂言の名舞台を描いたデッサンなど、これまであまり広く知られなかった作品・資料を紹介する。さまざまな須田の“まなざし”から、その芸術観をあらためてひも解く。	16,000人	7月13日～9月8日	世田谷美術館
	生誕130年記念 北川民次展 ——メキシコから日本へ	1920～30年代のメキシコで画家・美術教育者として活動した北川民次(1894-1989)。帰国後は東京・池袋を経て、愛知・瀬戸を拠点に鋭い批判精神に満ちた絵画を発表する一方、独自の美術教育を実践し、良質な絵本の制作・普及にも励んだ。約30年ぶりの大回顧展となる本展では、「民衆へのまなざし」「壁画と社会」など、北川がメキシコから日本へと移動しながら追求した5つのテーマに注目し、その足跡を多角的に検証する。	16,000人	9月21日～11月17日	世田谷美術館
	東急 暮らしと街の文化	“企業と美術シリーズ”の第5弾として、“東急”の企業活動を文化という視点から検証する。人々の暮らしを支え、多様な文化と人の往来を支えてきた東急は、世田谷の住宅地としての発展に深く関わっている。展覧会は「東急と世田谷の街」、「東急と街づくり」、「東急と文化」の3章で構成し、それぞれ絵画や写真といった美術作品、同社の歴史＝歩みをたどれるポスターなどの宣伝材料物のほか、映像や模型などの諸資料で紹介する。	18,000人	11月30日～2025年2月2日	世田谷美術館

事業名	個別事業名			実施日等	実施場所
企画展事業	世田谷美術館コレクション選 緑の惑星—セタビの森の植物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現された多様な植物にまつわる作品を一堂に展示する内容。I《森林》、II《風景》、III《庭園》、IV《楽園》、V《花園》、の5つの章で構成し、併せて来場者が参加できる参加コーナー、対面、オンラインでのイベントも開催する。	6,000人 (総計: 10,000人)	2025年 2月27日～ (4月13日)	世田谷美術館
調査・研究	【調査・研究】 企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。	—	通年	世田谷美術館
	収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。	350冊	通年	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	本年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。	300冊	通年	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 第Ⅲ期 美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇	30,000人	(2023年 12月2日)～ 4月7日	世田谷美術館
		第Ⅰ期 アートディレクターの仕事—大貫卓也と花森安治		7月20日～ 10月14日	
		第Ⅱ期 かわりゆくもの、かわらないもの —TRANSITION		10月26日～ 2025年 1月13日	
		第Ⅲ期 イギリス美術 1980s		1月25日～ (2025年 4月6日)	
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 空模様と民家—向井潤吉の民家日和	8,100人	4月2日～ 9月1日	向井潤吉アトリエ館
第Ⅱ期 向井潤吉の心をとらえた 名もなき風景		9月28日～ 2025年 3月9日			

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 1950年代の写真——アメリカ、ヨーロッパ、アジアの街	2,420人	4月2日～ 9月1日	清川泰次記念ギャラリー
		第Ⅱ期 清川泰次 雑誌、書籍、新聞の仕事		9月28日～ 2025年 3月9日	
収蔵品展	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 開館20周年 Colorful——宮本三郎 彩られた世界	3,600人	4月2日～ 9月1日	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 開館20周年 Journeys—宮本三郎 旅する絵画		9月28日～ 2025年 3月9日	
資料収集・管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理] ・収蔵品管理システムの運用	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオの視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。	12,000人	通年	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・コンサート、ホームページからの動画配信など様々な普及活動を行う。	1,545人	通年	世田谷美術館及び分館 創作室 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	美術大学	講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、定員60名で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も開催する。	460人	通年	世田谷美術館 オンライン
	【パフォーマンス】 プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。	280人	年2回	世田谷美術館
	パフォーマンス等イベント	当館の建築空間や、教育普及の取り組みを活かしたイベントやアーティストの創造支援等を実施する。	190人	通年	世田谷美術館 オンライン
子どもと学校プログラム	美術鑑賞教室(区立小・中学生対象)	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。またそのための区立小学校への出張授業の実施や、ガイドブック等の作成を行う。	17,300人 (全90校)	通年	世田谷美術館 区内小中学校
人材育成プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、「博物館学芸員資格過程」における「博物館実習」の講義、実習を行う。(約8日間) 東京学芸大学と連携してインターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区内小学校4年生への事前(もしくは事後の)出張授業を行う特別プログラムを実施(小学校希望校約30校を予定)。	40人	通年	世田谷美術館、区内小中学校、大学他
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	8人	通年	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	教育施設等と連携、コラボレーションし、ワークショップや創作活動を実施する。また、ハンディキャップのある方の来館を支援する企画や取り組みを行う。	300人	通年	世田谷美術館 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現 の場の提供	区民展	世田谷区在住、在勤、在学者、または当館ボランティア、友の会会員や世田谷区を拠点にして制作をされている方、さらに群馬県・川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示する。	250人	10月～ 2025年3月	世田谷美術館
	【区民ギャラリー等の貸出】 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。			
	美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。	75,000人	通年	世田谷美術館
	清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。	4,000人	通年	清川泰次記念ギャラリー
	美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。	1,300人	通年	世田谷美術館
地域活性の ための文化 芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。	250人	通年	世田谷美術館他
	さくら祭	砧公園のお花見客への当館のPRを目的とする。エントランス広場でのミニワークショップ、パフォーマンス、フリーマーケットなどを実施する。	3,000人	2025年3月 29日、30日	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	世田谷美術館の友の会事業、また世田谷美術館事業の近況や、事業予定をお知らせするニュースレター(年3回、6月・10月・2025年2月発行、各1,500部)、年間予定表(2025年3月発行、50,000部)を発行する。	54,500部	6月、10月 2025年 2月、3月	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	伊藤潤二展 誘惑	伊藤潤二は、1986年のデビュー以来、その緻密かつ繊細な画風と大胆な物語構成で人気を博し、日本のホラー漫画界を牽引してきた。アートとして評される美しい作品と、奇抜な発想を独創的な世界観に昇華させる伊藤の才能は、日本だけでなく20以上の国や地域でも翻訳・出版されている。 本展では、伊藤潤二の初の大型原画展として、代表作『富江』や『うずまき』などのシリーズ漫画と傑作短篇漫画を、貴重な原画や手書き資料を元に紹介する。さらに独自のホラーへの哲学や創作活動の裏舞台に迫り、日本が世界に誇るJUNJI ITOの魅力を深掘りする。	24,750人	4月27日～ 9月1日	世田谷文学館
	シーズン展示 追悼・菅野昭正名誉館長 小説と映画の世紀	2023年3月に93歳で逝去された世田谷文学館名誉館長・菅野昭正の追悼事業として、評論『小説と映画の世紀』をもとにした展示と上映会を行う。「言語」と「映像」を表現媒体とする二つの芸術ジャンルを比較し考察する本書は、従来の映画批評と視座を異にしており、フランス文学者として、また文芸評論家として国内外を問わず数多くの文学作品と向き合ってきた菅野ならではの視点による激動の20世紀の思想史を垣間見るものでもある。12篇の小説と映画について遺された言説から、後世の私たちに向けた氏の「眼差し」を追い、これから生きる私たちの糧となる言葉を探る。	2,000人	9月21日～ 10月20日	世田谷文学館 1階文学サロン
	漫画家 森薫・入江亜季展(仮称)	ドラマティックなストーリー展開と言葉選び、緻密な筆致に支えられた広大な世界観を描き出すことで知られる漫画家、森薫と入江亜季。二人の作家に共通する特徴として、ペンとインクによる完全なるアナログでの原稿執筆があげられる。繊細な表情を持つ登場人物の描画をはじめ、キャラクターの纏う衣装、物語の舞台となる異国の文化と空気が感じられる背景描写が読者を魅了してやまない。 本展では、森薫の『エマ』『シャーリー』『乙嫁語り』、入江亜季の『群青学舎』『乱と灰色の世界』『北北西に曇と往け』などの代表作をリードに、両作家の最初期の同人誌作品をはじめ、自筆原稿、カラー原画や一枚絵などを展示し、網羅的に作品を紹介する。森薫・入江亜季、二人の作家のペン先が描き出すクリエイティブの全貌に迫る。	20,000人	11月2日～ 2025年 2月24日	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や紀要としてその成果を公表する。本年度は前年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉02」を刊行する。	—	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が収蔵する貴重な文学資料を核に、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料とゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く親しむ機会を提供する。2024年度は、世田谷ゆかりの二人の作家にスポットをあてる。前期は、森鷗外の次女で随筆家の小堀杏奴の絵画作品を中心に紹介、後期は、2025年に生誕90年を迎える寺山修司を当館コレクションにより顕彰する。	15,000人	前期 4月20日～ 9月1日 後期 10月5日～ 2025年 3月30日	世田谷文学館
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫および周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施し、本年度は燻蒸を行う。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。逼迫した課題である収蔵庫 狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行う。	—	通年	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行う。またホームページ上での主要収蔵資料の検索サービスに関しても、その内容を段階的に拡充する。	—	通年	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館 ・出張展示 ・ワークショップ	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内でのリアルイベントとともに、オンライン活用による配信イベント、ワークショップのプログラムの開発を進め、子ども対象だけではなく世代間交流イベントなどにより広い層の利用者獲得を目指す。学校や地域と連携しての写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップも引き続き実施し、出張展示キットの全国への貸し出しも行う。(区内17会場、川場村ほか、全国5会場程度を予定)	100,000人	通年	世田谷文学館、区内小中学校、区民センター、図書館、川場村など
	幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。	200人	通年	区内幼稚園・保育園など

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
講演会等 事業	企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを実施し、乳幼児も含めた幅広い層の来場者に、文学館のさまざまな楽しみ方を提案するオンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。 今年度の重点企画としては、ゆかりのノーベル文学賞作家・大江健三郎氏追悼講演会を亀山館長プロデュースで開催。	500人	通年	世田谷文学館 オンライン
	セタブンマーケット	広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」を、感染症拡大期の休止から復活させる。今年度は「漫画家 森薫・入江亜季展」と連動して多文化交流をテーマに実施する。	2,000人	11月	世田谷文学館
	地域のまつり等との連携	地域催事(下町まつり、蘆花まつり等)と連携した館内催事を行う。	500人	6月・10月	世田谷文学館
活動支援・共 催事業	市民活動支援など	文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、区民の生涯学習の要望に応える。	500人	通年	世田谷文学館他
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間)	5人以内	7月～9月	世田谷文学館
	職場体験などの受入	博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムなど、中学校などの要望に応じて、職場体験を受け入れる。	30人	通年	世田谷文学館 オンライン
ライブラリー の運営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	ライブラリー<ほんとわ>では、授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営する。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行う。	15,000人	通年	世田谷文学館
文学館広報	文学館広報	新聞広告や印刷物のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を継続するとともに、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動内容について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとわラジオ」放送 文学館ニュースの発行 「セタブンパス」事業	文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとわラジオ」の放送、文学館ニュースを年2回発行する。 昨年度発足した利用者サービスの充実を目的とする「セタブンパス」事業を継続実施する。	放送52回 各10,000部	通年	—

(7)財団共通

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
来館者サポート	来館者サポート	<p>様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。</p> <p>生活工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②手話通訳の配置(随時) ③視覚・聴覚障害者等と共に映像を鑑賞するワークショップの実施・記録音声の公開 ④授乳室の利用など 	—	通年	—
		<p>世田谷パブリックシアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置 ④視覚障害者のための舞台説明会(特定の主催公演) ⑤視覚障害者のための音声ガイド(特定の主催公演) ⑥補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の主催公演) ⑧聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑨聴覚障害者のための筆談具設置 ⑩多言語字幕付き上演(特定の公演) ⑪多言語情報発信 ⑫非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など 			
		<p>美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など 			
		<p>文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 ④託児サービスの実施など 			
財団広報	せたがやアーツカード	<p>世田谷区民を対象とする会員制度。主に、財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。毎月1回、希望する会員にはメールマガジン配信による情報提供を行う。引き続き、オンライン入会申込みの利便性を周知し、会員数の増加とともに事業への参加を促す。</p>	登録者数 20,000人	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
財団広報	財団広報	財団ホームページ等により、財団及び事業内容等を紹介する。	—	通年	—
	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容等を広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド判の情報紙(4ページ)を発行。区報に同冊し区内施設での配架の他、新聞(6紙)折込配布も実施する。	毎月 177,800部	通年	—
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。 <再掲>	—	通年	世田谷美術館及び分館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。	—	通年	世田谷文学館
物品販売事業	生活工房事業関連商品の販売	事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行う。	—	適宜	世田谷文化生活情報センター
	パブリックシアター関連商品の販売	世田谷パブリックシアターとシアターラムで上演された公演のパンフレットや映像化したDVD等の関連商品を、劇場やオンラインショップにて販売する。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館ミュージアムショップの運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	文学館ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップを運営する。オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。	—	通年	世田谷文学館
飲食物提供事業	パブリックシアターのロビーカフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。	10,000人	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。	20,000人	通年	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内のカフェ「セタビカフェ」を委託により運営する。	30,000人	通年	世田谷美術館

収支予算書

1. 収支予算(損益計算書ベース)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	令和6年度a	令和5年度b	増減a-b
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,469,000	2,660,000	△ 191,000
基本財産運用益	2,469,000	2,660,000	△ 191,000
特定資産運用益	1,261,000	773,000	488,000
特定資産運用益	1,261,000	773,000	488,000
事業収益	1,491,292,000	1,514,977,000	△ 23,685,000
事業運営収益	710,380,000	768,670,000	△ 58,290,000
区事業等受託収益	780,912,000	746,307,000	34,605,000
受取区補助金	1,358,419,000	1,280,041,000	78,378,000
受取区補助金	1,358,419,000	1,280,041,000	78,378,000
受取助成金等	192,526,000	162,417,000	30,109,000
受取助成金等	192,526,000	162,417,000	30,109,000
受取寄附金等	1,000,000	1,000,000	0
受取寄附金等	1,000,000	1,000,000	0
受取負担金	13,654,000	12,297,000	1,357,000
受取負担金	13,654,000	12,297,000	1,357,000
雑収益	116,000	119,000	△ 3,000
受取利息	116,000	119,000	△ 3,000
経常収益計	3,060,737,000	2,974,284,000	86,453,000
(2) 経常費用			
事業費	3,109,623,000	3,041,849,000	67,774,000
給料手当等	909,489,000	858,601,000	50,888,000
退職給付費用	24,719,000	26,202,000	△ 1,483,000
交際費	553,000	474,000	79,000
式典費	1,005,000	698,000	307,000
会議費	749,000	843,000	△ 94,000
旅費交通費	27,069,000	6,218,000	20,851,000
通信運搬費	15,141,000	13,859,000	1,282,000
消耗経費	33,206,000	36,702,000	△ 3,496,000
印刷製本費	58,014,000	51,962,000	6,052,000
保険料	5,746,000	5,749,000	△ 3,000
修繕費	33,907,000	31,308,000	2,599,000
光熱水費	12,247,000	10,130,000	2,117,000
諸謝金	57,117,000	52,407,000	4,710,000
支払負担金	51,094,000	13,268,000	37,826,000
委託費	934,365,000	951,671,000	△ 17,306,000
使用料及び賃借料	63,100,000	63,929,000	△ 829,000
支払手数料	22,868,000	31,189,000	△ 8,321,000
広報宣伝費	86,102,000	93,083,000	△ 6,981,000
臨時雇賃金	104,812,000	95,036,000	9,776,000
上演出演料	332,093,000	362,851,000	△ 30,758,000
舞台費	177,945,000	187,732,000	△ 9,787,000
制作企画費	66,485,000	74,104,000	△ 7,619,000
減価償却費	44,001,000	42,548,000	1,453,000
商品仕入	19,470,000	9,430,000	10,040,000
租税公課	28,326,000	21,855,000	6,471,000

(単位:円)

科 目		令和6年度a	令和5年度b	増減a-b
	管理費	6,577,000	8,624,000	△ 2,047,000
	報酬	5,046,000	5,838,000	△ 792,000
	給料手当等	539,000	2,093,000	△ 1,554,000
	退職給付費用	13,000	66,000	△ 53,000
	通信運搬費	102,000	102,000	0
	消耗経費	8,000	8,000	0
	保険料	15,000	15,000	0
	委託費	238,000	238,000	0
	使用料及び賃借料	18,000	△ 343,000	361,000
	減価償却費	598,000	607,000	△ 9,000
経常費用計		3,116,200,000	3,050,473,000	65,727,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 55,463,000	△ 76,189,000	20,726,000
法人税、都民税及び事業税		556,949	671,474	△ 114,525
当期一般正味財産増減額		△ 56,019,949	△ 76,860,474	20,840,525
一般正味財産期首残高		769,504,279	705,501,720	64,002,559
一般正味財産期末残高		713,484,330	628,641,246	84,843,084
II 指定正味財産の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		808,172,166	805,844,000	2,328,166
指定正味財産期末残高		808,172,166	805,844,000	2,328,166
III 正味財産期末残高		1,521,656,496	1,434,485,246	87,171,250

※ 令和6年度一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和4年度期末の実績額と令和5年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和5年度一般正味財産期末残高及び指定正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和6年度一般正味期首残高及び指定正味期首残高を令和5年度予算の一般正味期末残高及び指定正味期末残高とした表は下記の通り。

科 目		令和6年度a	令和5年度b	増減a-b
	当期一般正味財産増減額	△ 56,019,949	△ 76,860,474	20,840,525
	一般正味財産期首残高	628,641,246	705,501,720	△ 76,860,474
	一般正味財産期末残高	572,621,297	628,641,246	△ 56,019,949
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	805,844,000	805,844,000	0
	指定正味財産期末残高	805,844,000	805,844,000	0

2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
I 一般正味財産の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		0	0	0
基本財産運用益		0	0	0
基本財産運用益		0	0	0
特定資産運用益		1,261,000	0	1,261,000
特定資産運用益		1,261,000	0	1,261,000
特定資産運用益		1,261,000	0	1,261,000
事業収益		1,446,603,000	322,000	1,446,925,000
事業運営収益		665,691,000	322,000	666,013,000
事業運営収益		665,691,000	322,000	666,013,000
区事業等受託収益		780,912,000	0	780,912,000
指定管理受託収益		677,331,000	0	677,331,000
区事業受託収益		103,581,000	0	103,581,000
受取区補助金		1,310,338,000	48,081,000	1,358,419,000
受取区補助金		1,310,338,000	48,081,000	1,358,419,000
受取区補助金		1,310,338,000	48,081,000	1,358,419,000
受取助成金等		191,237,000	1,289,000	192,526,000
受取助成金等		191,237,000	1,289,000	192,526,000
受取助成金		191,237,000	1,289,000	192,526,000
受取寄附金等		1,000,000	0	1,000,000
受取寄附金等		1,000,000	0	1,000,000
受取寄附金		1,000,000	0	1,000,000
受取負担金		5,713,000	0	5,713,000
受取負担金		5,713,000	0	5,713,000
受取負担金		5,713,000	0	5,713,000
雑収益		116,000	0	116,000
受取利息		116,000	0	116,000
受取利息		116,000	0	116,000
経常収益計		2,956,268,000	49,692,000	3,005,960,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,469,000		2,469,000
0	0	0	2,469,000		2,469,000
0	0	0	2,469,000		2,469,000
0	0	0	0		1,261,000
0	0	0	0		1,261,000
0	0	0	0		1,261,000
41,257,000	3,110,000	44,367,000	0		1,491,292,000
41,257,000	3,110,000	44,367,000	0		710,380,000
41,257,000	3,110,000	44,367,000	0		710,380,000
0	0	0	0		780,912,000
0	0	0	0		677,331,000
0	0	0	0		103,581,000
0	0	0	0		1,358,419,000
0	0	0	0		1,358,419,000
0	0	0	0		1,358,419,000
0	0	0	0		192,526,000
0	0	0	0		192,526,000
0	0	0	0		192,526,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
336,000	7,605,000	7,941,000	0		13,654,000
336,000	7,605,000	7,941,000	0		13,654,000
336,000	7,605,000	7,941,000	0		13,654,000
0	0	0	0		116,000
0	0	0	0		116,000
0	0	0	0		116,000
41,593,000	10,715,000	52,308,000	2,469,000		3,060,737,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
(2) 経常費用				
事業費		3,011,186,000	49,739,000	3,060,925,000
	給料手当等	878,360,000	29,746,000	908,106,000
	退職給付費用	24,719,000	0	24,719,000
	交際費	543,000	10,000	553,000
	式典費	1,005,000	0	1,005,000
	会議費	749,000	0	749,000
	旅費交通費	26,983,000	86,000	27,069,000
	通信運搬費	13,304,000	171,000	13,475,000
	消耗経費	30,440,000	1,384,000	31,824,000
	印刷製本費	57,763,000	51,000	57,814,000
	保険料	5,684,000	62,000	5,746,000
	修繕費	33,607,000	300,000	33,907,000
	光熱水費	4,200,000	0	4,200,000
	諸謝金	56,091,000	1,026,000	57,117,000
	支払負担金	51,084,000	10,000	51,094,000
	委託費	908,602,000	13,783,000	922,385,000
	使用料及び賃借料	60,404,000	1,701,000	62,105,000
	支払手数料	19,798,000	6,000	19,804,000
	広報宣伝費	85,877,000	225,000	86,102,000
	臨時雇賃金	103,681,000	1,131,000	104,812,000
	上演出演料	332,093,000	0	332,093,000
	舞台費	177,945,000	0	177,945,000
	制作企画費	66,485,000	0	66,485,000
	減価償却費	43,446,000	47,000	43,493,000
	商品仕入	0	0	0
	租税公課	28,323,000	0	28,323,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
40,091,000	8,607,000	48,698,000			3,109,623,000
1,087,000	296,000	1,383,000			909,489,000
0	0	0			24,719,000
0	0	0			553,000
0	0	0			1,005,000
0	0	0			749,000
0	0	0			27,069,000
1,560,000	106,000	1,666,000			15,141,000
1,314,000	68,000	1,382,000			33,206,000
200,000	0	200,000			58,014,000
0	0	0			5,746,000
0	0	0			33,907,000
385,000	7,662,000	8,047,000			12,247,000
0	0	0			57,117,000
0	0	0			51,094,000
11,980,000	0	11,980,000			934,365,000
943,000	52,000	995,000			63,100,000
3,064,000	0	3,064,000			22,868,000
0	0	0			86,102,000
0	0	0			104,812,000
0	0	0			332,093,000
0	0	0			177,945,000
0	0	0			66,485,000
85,000	423,000	508,000			44,001,000
19,470,000	0	19,470,000			19,470,000
3,000	0	3,000			28,326,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
管理費				
	報酬			
	給料手当等			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	減価償却費			
	経常費用計	3,011,186,000	49,739,000	3,060,925,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 54,918,000	△ 47,000	△ 54,965,000
	他会計振替額	1,753,501	0	1,753,501
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 53,164,499	△ 47,000	△ 53,211,499
	一般正味財産期首残高	594,778,626	27,804,606	622,583,232
	一般正味財産期末残高	541,614,127	27,757,606	569,371,733
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	8,172,166	0	8,172,166
	指定正味財産期末残高	8,172,166	0	8,172,166
III	正味財産期末残高	549,786,293	27,757,606	577,543,899

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			6,577,000		6,577,000
			5,046,000		5,046,000
			539,000		539,000
			13,000		13,000
			102,000		102,000
			8,000		8,000
			15,000		15,000
			238,000		238,000
			18,000		18,000
			598,000		598,000
40,091,000	8,607,000	48,698,000	6,577,000		3,116,200,000
1,502,000	2,108,000	3,610,000	△ 4,108,000		△ 55,463,000
△ 729,632	△ 1,023,869	△ 1,753,501	0		0
231,710	325,239	556,949	0		556,949
540,658	758,892	1,299,550	△ 4,108,000		△ 56,019,949
137,839,012	16,357,566	154,196,578	△ 7,275,531		769,504,279
138,379,670	17,116,458	155,496,128	△ 11,383,531		713,484,330
0	0	0	0		0
0	0	0	800,000,000		808,172,166
0	0	0	800,000,000		808,172,166
138,379,670	17,116,458	155,496,128	788,616,469		1,521,656,496

その他の付属書類

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		あり	○	なし
事業番号	借入先	金額	使途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		あり	○	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	

令和6(2024)年3月28日発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます